

パプアニューギニア国
運輸省港湾政策及び行政能力強化
プロジェクト
業務完了報告書

平成 30 年 2 月
(2018 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

一般財団法人 国際臨海開発研究センター

パプ事
JR
18-005

略語表

DNPM	Department of National Planning and Monitoring
DoT	Department of Transport
DOTC	Department of Transportation and Communications
IMO	International Maritime Organization
JCC	Joint Coordinating Committee
MTD	Maritime Transport Division
NMA	National Maritime Authority
NMSA	National Maritime Safety Authority
NTS	National Transport Strategy
PDM	Project Design Matrix
PNG	Papua New Guinea
PNGPCL	PNG Ports Corporation Ltd
PPA	Philippine Ports Authority
SBMA	Subic Bay Metropolitan Authority
WBS	Work Breakdown Structure

目次

1. プロジェクトの概要.....	1
1.1. 本プロジェクトの背景と経緯.....	1
1.2. プロジェクトの目的.....	1
1.3. プロジェクトの期間.....	2
2. 合同調整委員会（JCC）.....	3
3. プロジェクトチーム.....	5
4. プロジェクトの主な活動.....	6
4.1. 成果1（運輸省及び港湾セクター内他組織の役割と責任が明確にされる）に関する活動内容及び活動成果.....	6
4.2. 成果2（港湾行政を行う基本知識と能力が向上される）に関する活動内容及び活動成果.....	7
4.3. 成果3（港湾施設の基本情報が収集され、分析される）に関する活動内容及び活動成果.....	9
4.4. セミナー.....	10
4.5. カウンターパートの海外研修.....	12
5. プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓.....	14
5.1. プロジェクトチームの現状.....	14
5.2. Counterpart Fund の調整.....	14
5.3. PNG 港湾セクター組織改革.....	15
6. プロジェクトの達成状況.....	17
7. 上位目標の達成に向けての提案.....	20
添付資料.....	22
1. PDM.....	23
2. 業務フローチャート.....	24
3. WBS.....	25
4. 専門家派遣実績（要員計画）.....	29
5. 海外研修工程.....	30
6. 合同調整委員会議事録.....	34
7. News Letter.....	55
8. 調査港湾施設リスト.....	66
9. 達成状況テスト.....	72

1. プロジェクトの概要

1.1. 本プロジェクトの背景と経緯

パプアニューギニア独立国（以下、PNG）は、ニューギニア島の東半分やニューブリテン島、ニューアイルランド島、ブーゲンビル島を含めた 600 を超える島々から形成されているほか、ニューギニア島中央の山脈により国土が分断されているなど、その険しい地形条件から、ニューギニア島の沿岸部あるいは島嶼間の人や物の移動は、海上交通および航空路に頼らざるを得ない状況が続いており、物資輸送については海上交通が最も重要な手段となっている。

2013 年 7 月に発表された国家交通戦略（NTS）では国の 2050 年ビジョンや発展戦略計画を反映した運輸部門開発のための政府の長期政策が定められている。その戦略では港湾施設の復興や拡張が運輸分野の発展のために重要な役割を果たすと幾度も書かれている。

PNG の主要港湾にある既存施設は老朽化が進み、拡大する需要や近年の船舶の大型化やコンテナ化に対応出来ていない。国の経済発展を促進させるためにも政府は国内の港湾ネットワークの発展の主導権を担い進めていく必要がある。しかしながら、管理規制の役割の一部が運輸省（Department of Transport、以下「DoT」）から、港湾公社（PNG Ports Corporation Ltd、以下「PNGPCL」）、海上保安庁（National Maritime Safety Authority、以下「NMSA」）等の機関に委任されている。さらに、管理が委任されていない港湾の管理はどの政府機関にも管理されていない状況になっている。このような状況では行政の責任所在の曖昧さや意思決定プロセスの複雑化といった課題を抱えている。

その政策を実現させるために、政府が港湾行政の関連した政策手法や技術の知識を習得することは非常に重要であり、この新たな機能を効率的に進めるためにも DoT 職員の人材育成も重要となっている。

このような状況を受け、DoT は組織の機能強化のための政策を導入し、職員の能力向上のための技術協力について、我が国政府に要請した。これを受け、JICA は、DoT と連携した技術協力プロジェクトを実施することで合意した。

1.2. プロジェクトの目的

本プロジェクトは、PNG 運輸省（DoT）との合意内容に基づき、DoT 職員の港湾政策及び行政能力を総合的に強化することを目的とする。本プロジェクトの具体的な目標は次の通りである。

① 上位目標

プロジェクトチームメンバーの能力強化を通じ、PNG における港湾行政が円滑に遂行される。

② プロジェクト目標

DoT が政策策定、計画実施、法や規則整備を担う港湾行政主体として業務遂行するための能力が強化される。

③ 期待される成果

成果 1：運輸省及び港湾セクター内他組織の役割と責任が明確にされる。

成果 2：港湾行政を行う基本知識と能力が向上される。

成果 3：港湾施設の基本情報が収集され、分析される。

1.3. プロジェクトの期間

本プロジェクトの期間は当初 2014～2016 年の 3 年間の計画で開始している。2017 年の 1 年間で延長されるが、この期間は当初の 3 年目の延長期間として考えられ、これは 2016 年 9 月 7 日の合同調整委員会（Joint Coordinating Committee、以下「JCC」）が特別 JCC として開催され決定されたものである。この延長の目的は港湾行政の知識や技術をさらに深めることや 2013 年 5 月の政府政策ガイドラインの国家交通戦略（National Transport Strategy、以下「NTS」）に基づく PNG の港湾分野の機構改革の準備や進捗を注視するためである。

2. 合同調整委員会 (JCC)

JCC は本プロジェクトの中で関係機関との連携を促進させるために設立されたものであり、基本的には年2回開催され、必要な時に追加で開催されるものである。JCC の役割はプロジェクトの年次初めに年間計画を承認すること、全体の進捗状況を確認すること、プロジェクトの監視や評価をすること、プロジェクトを進める上で抽出される重要な課題について意見交換を行うことである。JCC はプロジェクト監督者である DoT の運輸次官を議長として進められ、JCC のメンバーとして選ばれた出席者が参加する。

JCC のメンバーは次のとおりである。

PNG 側

- First Assistant Secretary, Maritime Transport Division (also acts as Project Manager)
- First Assistant Secretary, Policy & Research Division Assistant Secretary, Maritime Transport Division
- First Assistant Secretary, Rural Transport Infrastructure Development Division
- First Assistant Secretary, Maritime Security Division
- Representative from PNG Ports Corporation Ltd.
- Representative from National Maritime Safety Authority
- Representative from Foreign Aid Division, Department of National Planning and Monitoring

日本側

- JICA プロジェクト専門家
- JICA PNG 事務所
- 在 PNG 日本大使館 (オブザーバーとして招待時)

JCC は4年間のプロジェクト期間中に9回開催された。その JCC の日程や議題は次の表に示す。

表 1 JCC の開催実績

プロジェクト年	回数 (通算)	開催日	議長	議題
1 年目 2014 年	1(1)	4 月 9 日	Mr. Kevin Luana Deputy Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Work plan for the 1st year • Recruitment of new staff
	2(2)	11 月 19 日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Draft progress report 1st year • Counterpart fund for 2nd year
2 年目 2015 年	1(3)	4 月 22 日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Work plan for the 2nd year • Port Survey Program
	2(4)	11 月 25 日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Draft progress report 2nd year • Counterpart fund for 3rd year

3年目 2016年	1(5)	4月20日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Work plan for the 3rd year • Demarcation among the port related organizations
	2(6)	9月7日	Mr. Kevin Luana Deputy Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Revision of PDM • Extension of the Project
	3(7)	11月24日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Draft interim report 3rd year • National Port Administration
3年目 延長 2017年	1(8)	3月29日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Work plan for extension period • Maritime Sector Reform
	2(9)	11月29日	Mr. Roy Mumu Secretary, DoT	<ul style="list-style-type: none"> • Draft completion report • Overall review of the Project

多くの有意義で建設的な議論が JCC メンバーにより行われた。プロジェクトが進む中で国家港湾行政の課題として、同時期に懸案事項となった港湾セクターの機構改革が JCC での議論の中心となった。JCC 議事録はこの報告書の説明資料 6 に添付する。

3. プロジェクトチーム

本プロジェクトのプロジェクトチームについては、港湾行政を遂行するために必要な各種政策手段に関する基礎的事項を技術移転するという目標を鑑みつつ、カウンターパート側が主体となって組織された。

メンバーは DoT のメンバーで構成された (Maritime Transport Division より 4 名、Policy and Research Division より 1 名、Rural Transport Infrastructure Development Division より 1 名)。

プロジェクトチームメンバーは、基本的に本プロジェクト期間中、途中交代なしにその役割を果たすことが求められている。しかしながら、やむを得ず、PNGPCL の当初メンバーが交代している。プロジェクトチームメンバーはワークショップや港湾施設調査等に参加している。

以下のプロジェクトチームが、プロジェクト完了時のメンバーである。

表 2 プロジェクトチームメンバー一覧

	氏名	所属
1	Mr. Manau Suu	Maritime Transport Division, DoT
2	Ms. Priscilla Ure	Maritime Transport Division, DoT
3	Mr. Sylvester Rokuman	Maritime Transport Division, DoT
4	Mr. Joseph Lelepo	Maritime Transport Division, DoT
5	Mr. Sent Raiya	Policy and Research Division, DoT
6	Ms. Marion Kila	Rural Transport Infrastructure Development Division, DoT
7	Ms. Hane Kila	Maritime Compliance Division (Harbours Management Services), PNGPCL
8	Mr. Vagi Eoima	Infrastructure Division, PNGPCL

4. プロジェクトの主な活動

4.1. 成果1（運輸省及び港湾セクター内他組織の役割と責任が明確にされる）に関する活動内容及び活動成果

(1) 活動内容

国家港湾行政における DoT の役割や責任に関して、プロジェクトチームメンバーの基礎知識や理解を深めてもらうためにプロジェクト期間を通してワークショップは開催された。成果1に関するワークショップのテーマを次の表に示す。

表 3 成果1に関するワークショップの実績

No.	開催回	開催日	テーマ
1	WS-1	2014年3月6日	Overview 港湾行政の概要
2	WS-2	2014年4月16日	Port Development 港湾開発
3	WS-8	2014年8月13日	Port/Waterfront Area 港湾・親水区域
4	WS-9	2014年10月1日	Necessity of port data 港湾関連情報の必要性
5	WS-11	2014年11月14日	Cargo Demand Forecast (I) 貨物需要予測(1)
6	WS-12	2014年11月17日	Cargo Demand Forecast (2) & (3) 貨物需要予測(2)(3)
7	WS-18	2015年8月7日	Method of Port Planning 港湾計画
8	WS-19	2015年9月30日	IMO IMO と国際条約
9	WS-19	2015年9月30日	Environment of Port 港湾における環境保全
10	WS-20	2015年10月14日	Third Country Training 第三国研修で得られた知見
11	WS-20	2015年10月16日	Group Training in Japan JICA 集団研修で得られた知見
12	WS-23	2015年11月6日	World trend of Port Administration 世界の港湾管理の傾向
13	WS-24	2015年11月18日	Port Plan & Technical Practice Demarcation of Port Administration 港湾計画演習、港湾行政における国の役割
14	WS-25	2015年11月20日	Maritime Conventions 海事関係国際条約
15	WS-27	2016年7月6日	National Port Policy 国家港湾政策
16	WS-29	2016年9月21日	Port-related laws in PNG PNG 港湾関連法規解説
17	WS-30	2016年11月9日	Laws for Governing Ports

			港湾行政のための法律
18	WS-33	2017年4月5日	Case Study Indonesia インドネシアの港湾行政
19	WS-35	2017年4月10日	Type of Port Management 港湾管理の種類
20	WS-37	2017年6月29日	Master Plan & Industrial Development 港湾計画と産業開発
21	WS-39	2017年7月7日	National Port Administration in PNG PNG 国家港湾行政
22	WS-42	2017年9月29日	Crisis Management in Port Administration 港湾行政における危機管理
23	WS-44	2017年10月13日	Policy Evaluation 港湾政策評価
24	WS-45	2017年11月15日	Development Policy and Nation-wide Transport Network in Japan 日本の開発政策と国内輸送ネットワーク
25	WS-47	2017年11月22日	Summarization of the National Port Administration まとめ

(2) 活動成果

プロジェクトチームメンバーの港湾セクター内各組織の役割と責務に関する知識の習得は順調にできた。これは各ワークショップにおけるプロジェクトチームメンバーからのより具体的な質問内容やワークショップでの講義に対する真摯な取組み態度に現れている。

4.2. 成果2（港湾行政を行う基本知識と能力が向上される）に関する活動内容及び活動成果

(1) 活動内容

基礎的な港湾政策手法についての港湾開発を進めるうえで必要な港湾制度、港湾台帳、港湾統計、港湾指導基準の講義がワークショップを通じて行われた。各々のテーマのワークショップがプロジェクト期間中に開催され、PNGPCL が管理する 15 港について独自の港格分類を試験的に行った。また、港湾政策手法の基礎資料としての港湾台帳整備が実務訓練として実施された。

表 4 成果2(港湾制度)に関するワークショップの実績

No.	開催回	開催日	テーマ
1	WS-3	2014年4月23日	Port Classification and its purpose 港格制度とその目的
2	WS-6	2014年7月16日	Port Classification in Japan 日本の港格制度
3	WS-15	2015年5月20日	Port Classification in other countries 諸外国の港格制度

4	WS-21	2015年10月16日	Port Classification trial application to PNG PNGでの試験的な港格分類
5	WS-26	2016年5月11日	Port Classification exercise 港格制度の演習

表 5 成果 2(港湾統計)に関するワークショップの実績

No.	開催回	開催日	テーマ
1	WS-5	2014年5月7日	Overview 港湾統計概要
2	WS-7	2014年7月30日	Survey Methodologies 統計調査方法
3	WS-10	2014年11月12日	Application of Statistics 港湾統計の利用
4	WS-20	2015年10月14日	Statistics & Transport Info. Act PNGの統計法と運輸情報法
5	WS-38	2017年7月5日	Review of Port Statistics 復習
6	WS-40	2017年7月12日	Statistics Survey Work Flow 統計調査の流れ
7	WS-41	2017年9月27日	Instruction for Port Survey 港湾調査の手引き
8	WS-43	2017年10月11日	Summary of Port Statistics まとめ

表 6 成果 2(港湾台帳)に関するワークショップの実績

No.	開催回	開催日	テーマ
1	WS-4	2014年4月30日	Practical Approach 実務的な取組み
2	WS-9	2014年10月1日	Outline of Port Inventory 港湾台帳の概要

表 7 成果 2(港湾調査方法)に関するワークショップの実績

No.	開催回	開催日	テーマ
1	WS-9	2014年10月1日	Bathymetric Survey 水深調査
2	WS-14	2014年10月1日	Survey Planning Methodologies 調査計画手法

表 8 成果 2(港湾指導基準)に関するワークショップの実績

No.	開催回	開催日	テーマ
-----	-----	-----	-----

1	WS-13	2015年4月15日	Port Administration in Japan 日本の港湾行政
2	WS-16	2015年5月27日	Development Guidelines 開発の手引き
3	WS-17	2015年8月5日	Port Planning Standard 港湾計画基準
4	WS-22	2015年11月4日	Maintenance of Port facilities(1) 港湾施設の維持管理(1)
5	WS-25	2015年11月20日	Maintenance of Port facilities(2) 港湾施設の維持管理(2)
6	WS-28	2016年7月13日	Regulation for environment etc 環境関連の法律
7	WS-31	2016年11月16日	Maintenance of Port facilities(3) 港湾施設の維持管理(3)
8	WS-34	2017年4月7日	Demand Forecast of Cargo 貨物需要予測
9	WS-36	2017年4月12日	Exercise of Port Planning 港湾計画演習
10	WS-46	2017年11月17日	Construction Management Guideline 港湾工事施工管理基準
11	WS-48	2017年11月24日	Review of Criteria of Port Development 復習

(2) 活動成果

港格制度の試行はプロジェクトチームメンバーによって満足のいく方法で実施された。試行で用いた手法は基本的に今までのワークショップで習得した知識によるものである。港格制度を行うための知識や技術はプロジェクトチームメンバーへうまく技術移転できている。

港湾統計は、ワークショップの機会に広範囲に渡る説明や議論がされ、実際に日本で関係団体から情報収集する手法も紹介された。また、港湾開発のための制度をテーマにしたワークショップが9回開催され、そのうちのひとつでは港湾開発制度の中で非常に重要な要素となっている港湾環境規制をテーマに開催された。プロジェクトチームのメンバーはワークショップの内容を十分に理解し習得した。

4.3. 成果3（港湾施設の基本情報が収集され、分析される）に関する活動内容及び活動成果

(1) 活動内容

本プロジェクトの目的の一つに実際の演習として港湾台帳整備がある。港湾台帳整備に必要な情報を収集するために、港湾施設に関する現地調査がプロジェクト期間中に実施された。国内の100を超える港湾施設の調査を実施し、目標を達成した。延長期間中の主な作業はプロジェクト

期間中に収集整理した港湾台帳の仕上げである。2017 年延長期間中に追加のデータや情報を集めるためにマダンやラバウルの追加調査を実施した。

(2) 活動成果

JICA 専門家が PNG 滞在中に港湾調査に参加した際にはプロジェクトチームメンバーはリーダー的な役割で港湾調査を実施した。2017 年 5 月のマダン 2 回目の調査では、JICA 専門家の一切の助けなく、プロジェクトチームメンバーのみで調査を成功させた。JICA 専門家との共同作業を通じた経験により、プロジェクトチームメンバーの技術は向上している。プロジェクト期間中に全 6 回の現地調査がプロジェクトチームメンバーのみで実施されている。プロジェクトチームメンバーのみで現地調査を行った港湾施設の一覧を次の表に示す。

表 9 プロジェクトチームメンバーのみで現地調査した港湾施設

Province	港及び港湾施設	調査年月
Manus	Lorengau	2015 年 6 月
West Sepik	Vanimo	2015 年 6 月
Bougainville	Buka	2015 年 9 月
Western	Daru, Kiunga	2015 年 10 月
Central	Kupiano and others	2016 年 10 月
Madang	Madang	2017 年 5 月

4.4. セミナー

プロジェクト期間中に 3 回のセミナーを開催した。セミナー開催の目的は本プロジェクトの能力開発の活動について知ってもらったり、PNG の港湾行政の危機意識を高めたりするために広い範囲の関係者をセミナーに招待することである。DoT、PNGPCL、NMSA、Department of National Planning and Monitoring の関係職員たちがセミナー参加者である。

1 回目のセミナーは両国の専門家による日本や PNG の歴史的背景や最近の動向に主に注目したものである。2 回目のセミナーは港湾開発をテーマにして開催された。両国のベテラン講演者により両国の港湾開発政策が要約された。3 回目のセミナーはそれまでとは違った構成で開催された。第 1 部ではプロジェクトチームメンバーによりプロジェクトの成果が発表された。第 2 部はパネルディスカッション形式で行われた。パネリストたちは PNG の港湾政策について意見交換した。日本大使館より大使もこの会に出席し、挨拶を頂いた。同セミナーは、活発な議論が交わされ、成功裡に終わった。

表 10 第 1 回セミナーの開催概要

開催年月日	2014 年 8 月 20 日
-------	-----------------

開催地		Holiday Inn Port Moresby
No.	題目	講演者
1	Project Outline	Mr. Michiharu Nose, JICA Expert
2	Port Administration in Japan	Mr. Eiji Tomida, JICA Expert
3	Function of Harbor Management Services	Mr. Martine Ginyaru, Harbor Management Services, PNGPCL
4	Port Administration in PNG	Mr. Charles Siniu, FAS Maritime Transport Division, DoT

表 11 第2回セミナーの開催概要

開催年月日		2015年5月22日
開催地		Gateway Hotel, Port Moresby
No.	題目	講演者
1	Port Development Policy	Mr. Philemon Maepa, Policy & Research Division, DoT
2	Port Development and Technical Standard	Mr. Tadahiko Kawada, JICA Expert
3	National Development Policy and Ports	Mr. Akira Koyama, JICA Expert
4	Port Administration in PNG	Mr. Charles Siniu, FAS Maritime Transport Division, DoT

表 12 第3回セミナーの開催概要

開催年月日		2016年6月27日
開催地		Holiday Inn Port Moresby
Part I (Outcome of the Dot Capacity Building Project)		
No.	題目	講演者
1	Port Inventory	Mr. Manau Suu, Maritime Transport Division, DoT
2	Port Classification	Mr. Sylvester Rokuman, Maritime Transport Division, DoT
3	Lesson Learnt from Overseas Training	Mr. Joseph Lelepo, Maritime Transport Division, DoT
Part II (Panel Discussion on Port Policy in PNG)		
No.	題目	講演者
	Initial Presentation	Mr. Sent Raiya, Policy & Research Division, DoT
	Panelist	Mr. Charles Siniu, FAS Maritime Transport Division, DoT
		Mr. Sent Raiya, Policy & Research Division, DoT

		Ms. Hane Kila, Harbor Management Service, PNGPCL
		Mr. Akira Koyama, JICA Expert
	Moderator	Mr. Michiharu Nose, JICA Expert

4.5. カウンターパートの海外研修

カウンターパートの海外研修が期間中に3回開催された。そのうち2回が日本で、1回がフィリピンで開催された。参加する研修生はプロジェクトチームメンバーから選ばれる。1年目（2014年）と3年目（2016年）は日本で研修が開催された。研修生は港湾管理や他の課題に関する様々な講義を受講した。東京港や横浜港の視察が研修に含まれている。研修生は日本の地方出張で九州（大分、博多、長崎）にも行き、日本の中小規模の港湾施設の実際の管理手法について学んだ。2年目（2015年）は第三国研修がフィリピンで開催された。フィリピンはPNGと島嶼国であるという地理的な条件とPNGから近接性があるために研修先に選ばれた。研修生はJICA専門家とともに中央政府組織の運輸通信省（DOTC: Department of Transportation and Communications）やフィリピン港湾公社（PPA: Philippine Ports Authority）を訪問した。研修生はスービック港都市圏開発公社（SBMA: Subic Bay Metropolitan Authority）でコンセッション契約の下、民間のターミナルオペレーターと連携した港湾の管理・運営を現場で直接学び、習得することができた。参加研修生は次のとおりである。

表 13 第1回本邦研修の概要

開催年月日		2014年10月4日～19日
開催地		日本
	名前	所属
1	Mr. Charles Siniu	Maritime Transport Division, DoT
2	Ms. Priscilla Ure	Maritime Transport Division, DoT
3	Mr. Joseph Lelepo	Maritime Transport Division, DoT
4	Mr. Mrtin Ginyaru	Maritime Compliance Division (Harbor Management Service), PNGPCL

表 14 第三国研修の概要

開催年月日		2015年6月28日～7月6日
開催地		フィリピン
	名前	所属
1	Mr. Manau Suu	Maritime Transport Division, DoT

2	Mr. Sent Raiya	Policy & Research Division, DoT
3	Mr. Joseph Lelepo	Maritime Transport Division, DoT
4	Ms. Priscilla Ure	Maritime Transport Division, DoT

表 15 第 2 回本邦研修の概要

開催年月日		2016 年 12 月 3 日～18 日
開催地		日本
	名前	所属
1	Mr. Sylvester Rokuman	Maritime Transport Division, DoT
2	Mr. Sent Raiya	Policy & Research Division, DoT
3	Ms. Marion Kila	Rural Transport Infrastructure Development Division, DoT
4	Mr. Vagi Eoima	Infrastructure Division, PNGPCL

3 回の詳細な研修内容や工程は巻末の添付資料 5 に示す。

本事業の海外研修に加え、プロジェクトチームメンバーの数人は JICA 集団研修「港湾管理と運営」に参加する機会があった。

次に JICA 集団研修とその参加者を示す。

表 16 JICA 集団研修参加者リスト

プロジェクト年.	研修名	開催期間	参加者
2 年目 2015 年	港湾開発計画	6 月 3 日～ 8 月 11 日	Mr. Sylvester Rokuman
	港湾戦略運営	10 月 12 日～ 11 月 21 日	Mr. Sent Raiya
3 年目 2016 年	港湾開発計画	6 月 5 日～ 8 月 13 日	Ms. Priscilla Ure
	港湾戦略運営	(2017 年) 1 月 15 日～ 3 月 3 日	Mr. Joseph Lelepo

5. プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓

5.1. プロジェクトチームの構成

プロジェクトチームは、本プロジェクトの実施に当たり、中心的な役割を担っている。プロジェクトチームは、港湾行政における政策手段に関する基礎的な知識を習得するため、PNG 側が主体となって高いモチベーションを備えた職員で構成され、各メンバーは本プロジェクト期間を通じて途中交代なしにその役割を果たすことが求められている。

プロジェクトチームは、本プロジェクトに関係する複数の組織・部局からの職員で構成されており、中でも、MTD からの職員が 8 名中 4 名と半数を占めている。その他は、DoT の他の部局から 2 名、PNGPCL から 2 名の職員が参加している。このように港湾行政に係る全ての組織・部局が、本プロジェクトに関与していくことが求められている。このため、本プロジェクトは当初 NMSA に対して、適切な人材のプロジェクトチームメンバーへの参加を求めている。NMSA 反応がそれほどでなかったため、当初は NMSA なしでプロジェクトチームが進められた。ただし JCC のメンバーとして最初から NMSA のメンバーは参加している。

PNGPCL の 2 人のメンバーは、基本的には人材育成期間中には交代はしないという基本理念があるが、両方とも交代している。1 人の交代の理由は本プロジェクトでは関与できない部署への異動による断念であり、もう 1 人は本プロジェクトで PNGPCL のインフラ管理に関係するメンバーに参加してもらう必要性によるものである。いずれにしてもこの調整はうまく進み、異なる組織同士の協力を得て、特段の問題が発生することなく機能した。

ただ一つ、MTD 以外のメンバーの本プロジェクトへの活動参加率については、改善される必要がある。プロジェクトチームは、ワークショップをはじめ、セミナーや港湾施設の調査の機会に参加することが求められているが、これまでの実績をみると、MTD のメンバーが主体となっており、他の部局・組織からの参加率は比較的低くなっている。プロジェクトチームの初期の目的を果たすため、MTD 以外の DoT や PNGPCL のメンバーにおいては、積極的に本プロジェクトへの活動に参加することが期待される場所である。プロジェクト期間を通じたワークショップの参加率は平均 65% である。プロジェクトチームメンバーの通常業務や突然の会議出席などを考慮すれば、65% という結果は比較的良い結果であると言える。

5.2. Counterpart Fund の調整

期待される成果、特に成果（3）を達成するためには、PNG における港湾施設に係る基礎情報を収集し、港湾台帳として取り纏める必要がある。港湾台帳の整備に必要なデータを収集するた

めには、カウンターパート側の職員が、本プロジェクトの期間中に様々な地方港湾に赴き、港湾施設の調査を実施することが必要であるが、これらの旅費を手当てするための予算措置が必須となる。これらの旅費は PNG 側の Counterpart Fund から確保されることになった。

Counterpart Fund を確保するためには Department of National Planning and Monitoring (DNPM) との事前の予算折衝が肝要である。第 1 年次開始時において必要な予算が確保されていなかったという経験を踏まえ、第 2 年次のプロジェクト遂行に際しては、DNPM との予算要求・折衝が適切になされ、PNG 政府の予算を確保することができた。これにより、第 2 年次においては、当初計画通り、地方港湾における港湾施設の調査を実施することができた。しかしながら、全般的な政府予算の縮減傾向もあり、第 3 年次においては再び Counterpart Fund の予算割り当てが実現しなかった。

調査に必要な資金を捻出するため、DoT の限られた通常経費予算の中からのやり繰りにより出張費用の捻出をし、また JICA 側事業予算の中でプロジェクトチームメンバー出張費用の一部負担した。

結果的に本プロジェクトでは国内 100 を超える港湾施設の調査を完了することができ、これは有意義な成果となっている。

5.3. PNG 港湾セクター組織改革

本件は PNG 港湾セクターにおける長年の懸案事項である。本技術支援プロジェクトは開始以来、国家港湾行政に必要な基礎的行政手段についての技術移転を続けてきた。最終年次である第 3 年次（2016 年）においては、本プロジェクトの行方を廻る議論が不可避の議論として浮かび上がってきた。

同じタイミングで、2013 年に承認済である国家交通戦略（NTS）について、その具体的実施に向けての動きが顕著となってきた。中でも、NTS の中で新設が示唆されている National Maritime Authority (NMA) の設立に向けての動きが、特別委員会を中心に動き始めた。NTS によれば、NMA 設立により DoT の Maritime Transport Division (MTD) は NMA に吸収されて消滅することになっており、注目される問題となっていた。

このような状況において、次のプロジェクトのカウンターパートがはっきり判明するまでは、第 2 期に移行するのはむしろ時期尚早と考えられていた。

かかる状況に鑑み、当面一年間（2017 年）現行のまま延長し、人材育成を行いさらなる技術支援により国家港湾行政を実施するための能力開発に関する DoT の動きを側面的にサポートしてゆくこととなった。

第3年延長期間（2017年）において、DoTのMTDは、あるべき港湾管理運営体制の再編成にむけて、港湾セクター関係各機関の持つべき機能の整理を行うことになっている。この業務が（DoTの役割と責任により）港湾セクターの機構改革のために関係機関へのMTDからの提案としてまとめられるべきである。これはそう遠くないうちに実現されることになるかと信じている。

6. プロジェクトの達成状況

本プロジェクトの達成状況は2016年9月7日の特別JCCにおいて承認されたPDMにより評価される。

(1) 全体の達成

概要

PNGにおける港湾行政は、政府職員の能力を強化することにより円滑に実行される。

客観的に確認できる指標

港湾セクターにおける DoT およびその他の組織の役割と責任を明確化する。

達成状況

政府ガイドラインである NTS や特に港湾セクターの機構改革について実施状況に関して政府関係機関で議論がされること。プロジェクトの全成果により、政府職員がプロジェクトを通じて蓄積した知識を持ってリーダー的な役割を担い、国家港湾行政の円滑な履行に貢献することが期待される。

(2) プロジェクトの目的

概要

DoT が国家港湾行政機関としての港湾政策、港湾計画、法令・規制を再開するための能力が強化される。

客観的に確認できる指標

プロジェクトメンバーによる最終達成テストで平均 70 点達成

DoT による提案が (DoT の役割と責任により) 港湾セクターの機構改革のため委員会を運営する NMA になされる

実績

8 人のプロジェクトチームメンバーによる達成テストの平均得点は 78 点であった。これは、プロジェクトのチームメンバーが港湾政策の技術を理解し、いつ行政の変化が起きても実際に対応できる必要な基礎レベルに高められたことを示している。今後 DoT において作成される提案書はワークショップでの議論や関係資料により基づく内容が活かされ、準備ができて

いる。

(3) 成果 (1) の成果

概要

港湾部門における DoT やその他の組織の役割と責任が明確にされる。

客観的に確認できる指標

関係組織の港湾管理における構造と機能の作成

達成状況

これは現在進行している港湾セクターの機構改革に密接に関係するものである（参照「5.プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓」「5.3.PNG 港湾セクター組織改革」）。議論は PNG における港湾関係機関である DoT、NMSA、PNGPCL の間で引き続き行われている。ここでは効率性をあげることや各組織の機能的な体制を明確にするために現状の機能を整理することに注目している。この成果(1)で扱う港湾行政構造の改革は PNG 政府により実施されている港湾全体の改革の一部となっている。本プロジェクトでは港湾行政の改革に関するガイドラインや提案がプロジェクト期間中のワークショップやたくさんの資料によりプロジェクトチームメンバーの提案のために提供されている。

(4) 成果 (2) の成果

概要

港湾管理を実行するための基本的な技術と知識が強化される。

客観的に確認できる指標

プロジェクトメンバーによる達成テストの平均スコアが 70 点以上

試験的に 15 港湾の港格制度の分類

港湾行政制度、港湾台帳、港湾統計、港湾開発の指導基準に関する教科書作成

達成状況

8 人のプロジェクトチームメンバーの達成テストの平均得点は 78 点である。現在、PNG の Declared Ports のうち、PNGPCL が管理する 15 港の試験的な港格分類がプロジェクトチームメンバーにより行われ、その結果を 2016 年 7 月 27 日のセミナーでたくさんの聴衆者の前で発表した。また、ワークショップで使用した資料が教科書として編集・作成されている。プ

プロジェクトチームメンバーの多くは実際の港湾行政や港湾管理に携わることができない状況にもかかわらず、ある程度のレベルの基礎的な港湾政策技術がメンバーにうまく伝承できた。

(5) 成果 (3) の成果

概要

港湾施設に関する基本的な情報を収集・分析する。

客観的に確認できる指標

少なくとも 100 の港や港湾施設を調査し、リストにまとめる。

達成状況

プロジェクト期間を通じて、プロジェクトチームのメンバーにより広範囲な調査が行われた。その結果、115 の港湾施設を調査し、収集したデータは港湾台帳として整備した。調査対象の港湾施設のリストは、報告書の付録 8 に示されている。メンバーは、プロジェクトの完了後にこれを実際に利用することによって、さらに内容を磨きあげ、情報を更新して国家港湾管理を強化することを期待する。

7. 上位目標の達成に向けての提案

プロジェクトの上位目標
PNG の国家港湾行政が政府職員の能力強化により、円滑に遂行される

プロジェクトの上位目標に向けての提案は次のとおりである。

(1) 望ましい国家港湾行政の枠組み設立

プロジェクト期間を通じて、望ましい国家港湾行政の状況をワークショップやセミナーの機会、またはプロジェクトチームメンバーとの日常的な会話を通じて、説明や議論をしてきた。世界各国で採用されている多くの国家港湾行政の代替形態がプロジェクトの中で紹介され、PNG における国家港湾行政のために望ましい構造枠組を構築する際に留意すべき視点も紹介された。港湾は PNG の開発にとって重要な役割を果たしている。国の地理的な状況のために海岸線沿いの人や物資の輸送は海上輸送に大きく依存している。物流のつなぎ役として港湾は国家にとって不可欠な存在である。政府は、国内の港湾管理に全責任を負うべきである。本プロジェクトのカウンターパート組織は、プロジェクト中に蓄積された知識を十分に活用し、効果的な港湾管理の枠組みを作り出すことが望まれる。

(2) プロジェクト成果の有効活用

基本的な港湾政策の技術と方法がプロジェクト期間を通して広範囲に渡り説明された。ワークショップを通じて得られたすべての知識は、プロジェクトチームメンバーが自由に活用できる。彼らが得た知識は、PNG での国家港湾管理の実際の過程でいつでもどこでもフルに活用されることが期待される。

(3) 港湾政策技術の定期的な維持更新

プロジェクト期間中に提供される情報は、その時の最新の情報と技術である。しかし、毎年状況は変化し、技術は進歩している。したがって、技術の進歩を含めた状況の変化を常に監視し、必要に応じてその時の情報を更新する必要がある。港湾台帳の情報は、実際の港湾管理で有意義な情報として定期的に見直し、更新する必要がある。

(4) 港湾セクターにおける優秀な政府職員の維持

本プロジェクトは、専門的な知識が選ばれたプロジェクトチームメンバーに技術移転されるという出発点から計画されている。効果的な知識の蓄積のためには、チームメンバーが最初から最後までプロジェクトにとどまる必要がある。チームメンバーは、このプロジ

プロジェクトで習得した港湾管理に関するノウハウを、政府内の港湾関係者の立場で活用できると考えられる。したがって、プロジェクトチームメンバーが港湾セクターに留まり、有能な政府職員として育成するように政府が努力することを望まれる。

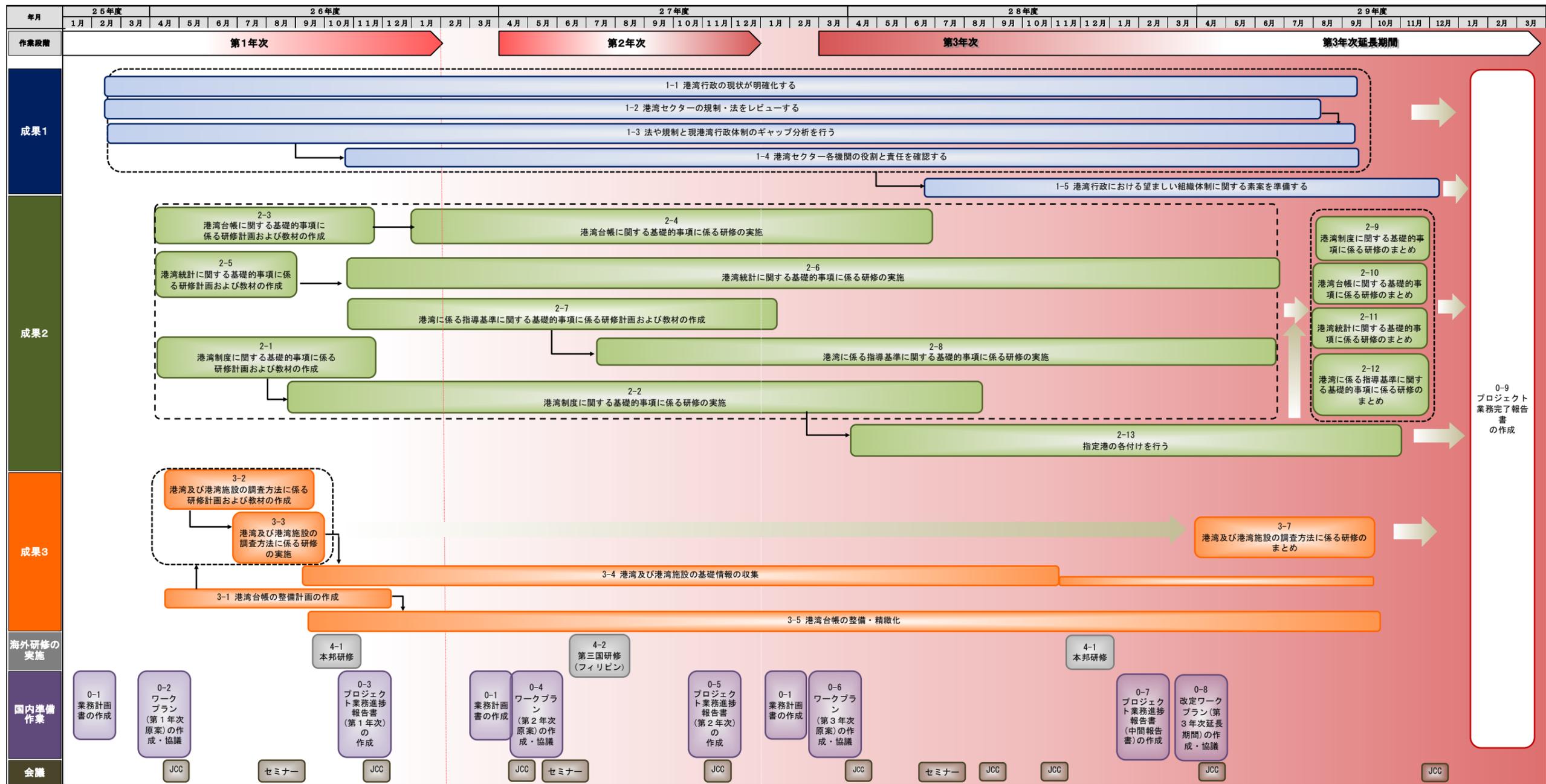
添付資料

1. PDM
2. プロジェクトフローチャート
3. WBS
4. 専門家派遣実績
5. 海外研修実績
6. 合同調整委員会議事録
7. ニュースレター
8. 港湾・港湾施設調査リスト
9. 達成テスト

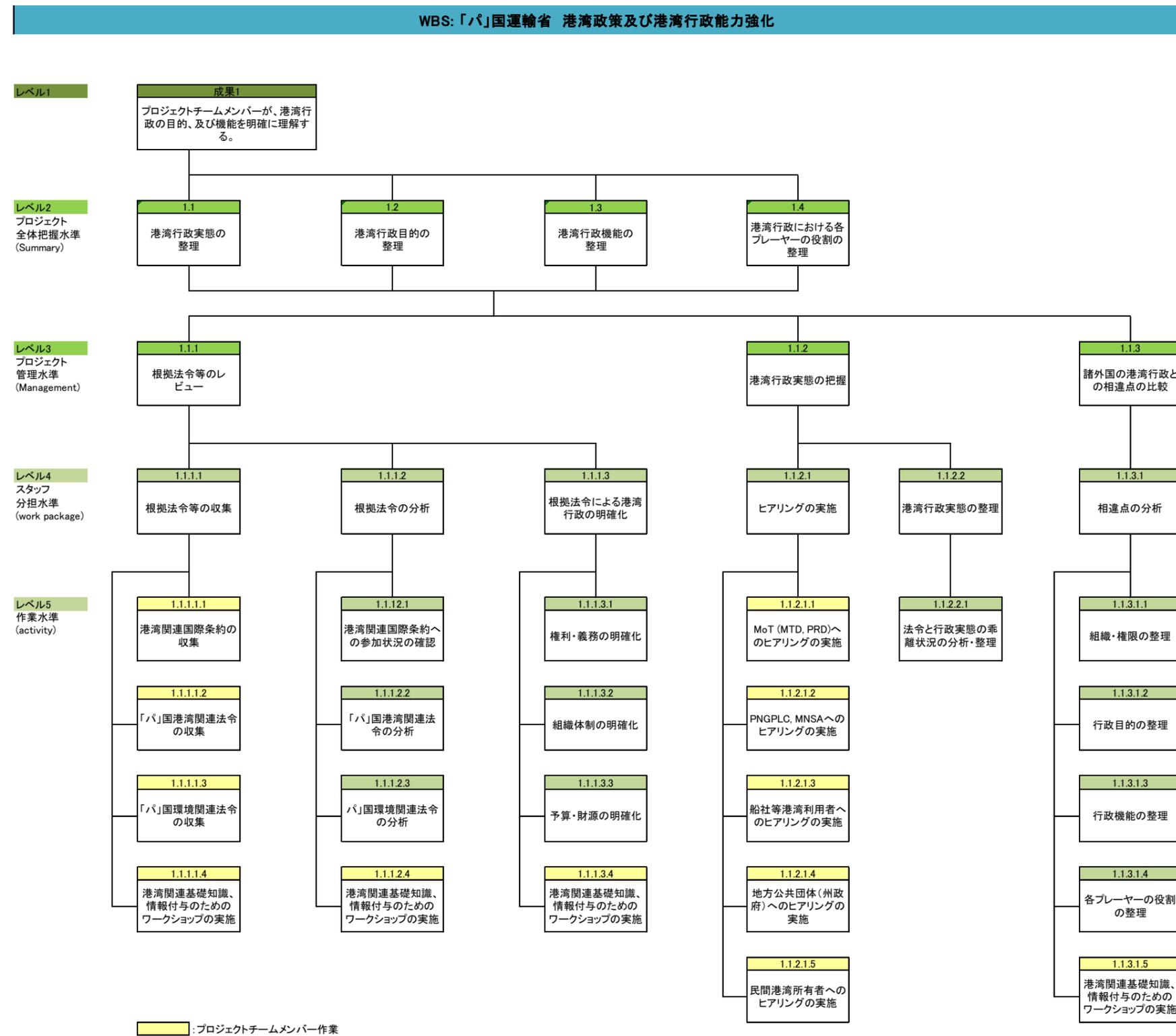
添付資料 1: PDM

<p>2-1 Conduct lectures on port governing system.* 2-2 Conduct lectures on port inventory. 2-3 Conduct lectures on port statistics. 2-4 Conduct lectures on evaluation criteria/technical standards for port development. 2-5 Conduct the classification of declared ports.</p>	<p>- Materials necessary for administrative work for the Project d. Project counterpart budget - Payroll cost for counterparts and maintenance cost for equipment to be provided - Costs for communication and coordination, and administrative tasks related to the Project. - Expenses for business trips for port survey.</p> <p>Inputs from Japan a. <u>Human Resources</u> - Four Experts as the Project Chief Advisor/Port Policy, Port administration/Training, Port Governing System (I), and Port Governing System (II) /Project Coordinator b. <u>Equipment</u> - Vehicles, office equipment, materials for training c. <u>Overseas training</u></p>	<p>provincial government, private port owner and so on.</p>
<p>3-1 Conduct the lectures on a survey method for port and port facility. 3-2 Collect the information on port and port facility through physical survey. 3-3 Analyse and compile the data obtained in activity 3-2.</p>	<p>Pre-conditions - The priority of the project given by the DoT is maintained. - MTD obtains three additional officers for port service positions.</p>	
<p>*) A port governing system is a system to categorize ports based on certain standards for administrative purposes.</p>		
<p>2. Basic skill and knowledge to execute port administration is enhanced.</p>	<p>- Average 70% is scored for achievement tests by project members - 15 declared ports are classified for trial inventory, port statistics and criteria for port development - At least 100 ports/port facilities are surveyed and compiled in the list</p>	<p>counterparts proposed is secured. - Counterparts assigned are not transferred and/or resign.</p>
<p>3. Basic information on port facilities is collected and analysed.</p>	<p>- Progress reports of the project - Port Classification List - Achievement test - Progress reports of the project - Inventory List</p>	
<p>Narrative Summary</p>		
<p>Activities 1-1 Clarify the current status (functions, powers and organization) of port administration 1-2 Review and analyse the current rules, law/regulations in port sector. 1-3 Conduct the gap analysis between current rules and actual situation of port administration. 1-4 Identify the roles and responsibilities taken by each organization in port sector. 1-5 Prepare the expected institutional structure of port administration.</p>	<p>Inputs from PNG a. Human Resources - Project Director, Project Manager - Counterpart Personnel b. Facilities - Meeting space for training - Office space for experts and support staff c. Equipment</p>	<p>Important Assumptions - Counterparts positively participate in the technical transfer activities. - Counterparts conduct port survey under their own initiative. - DoT makes efforts to secure the cooperation of stakeholders such as</p>

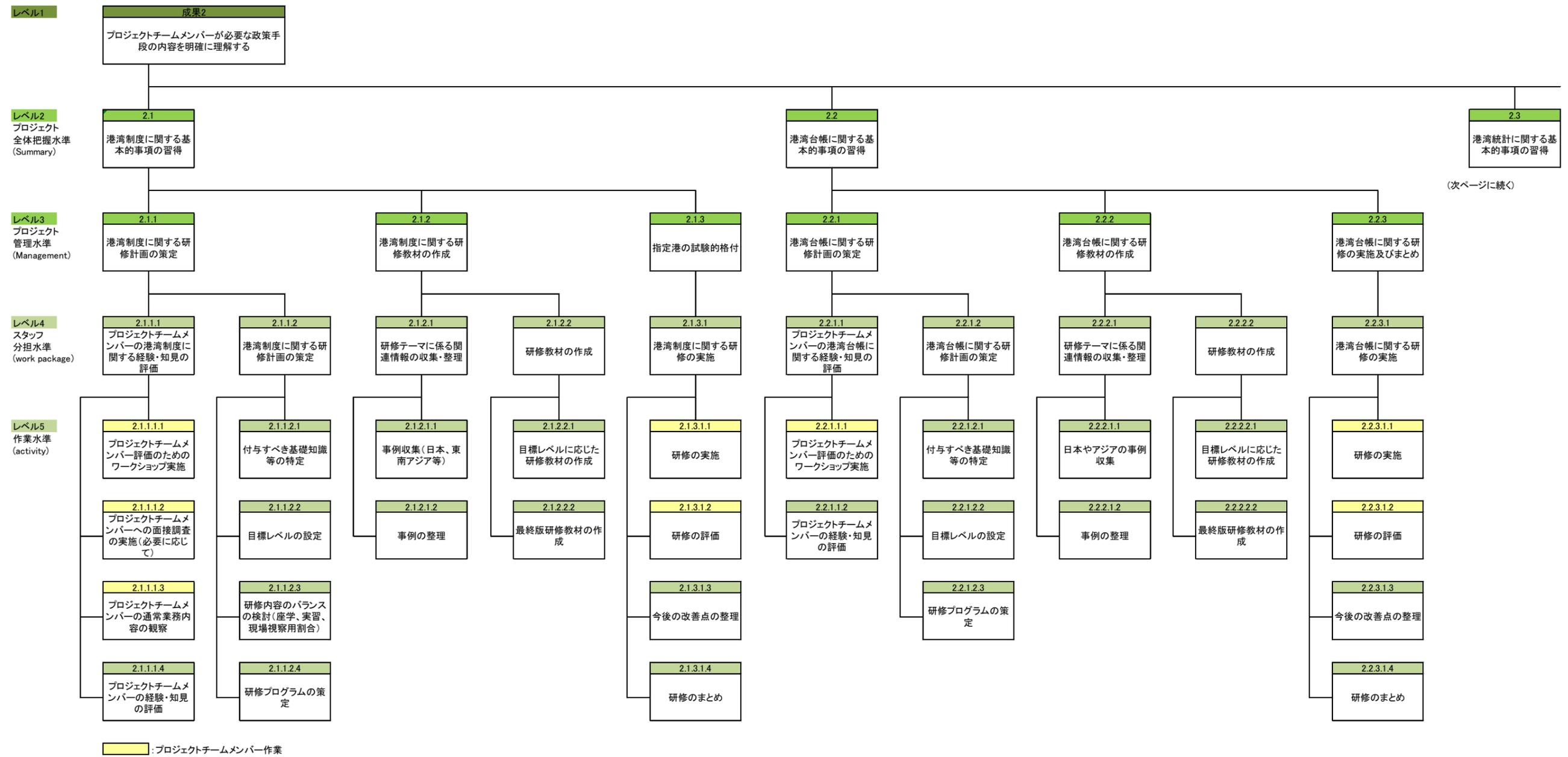
添付資料 2: プロジェクトフローチャート



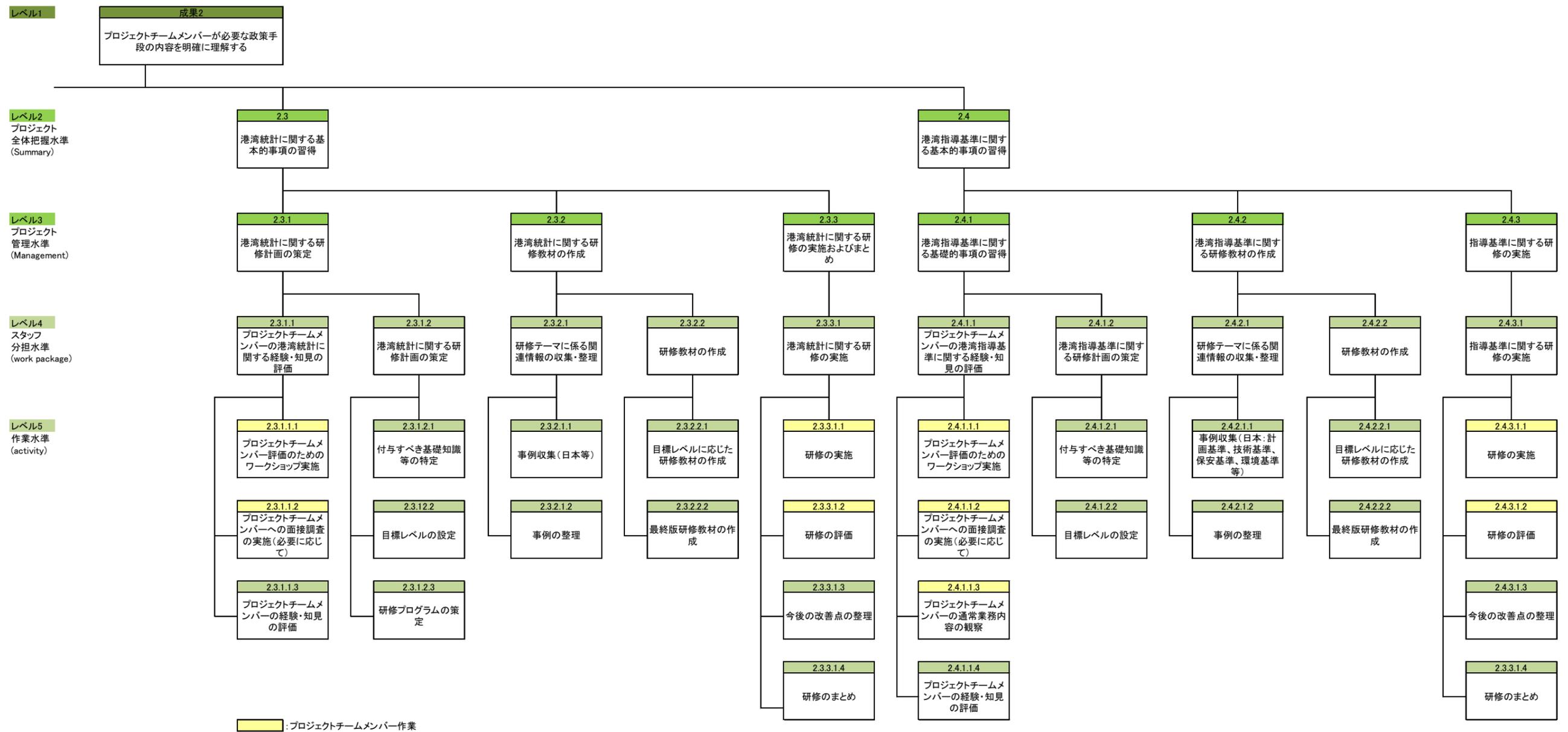
添付資料 3: WBS



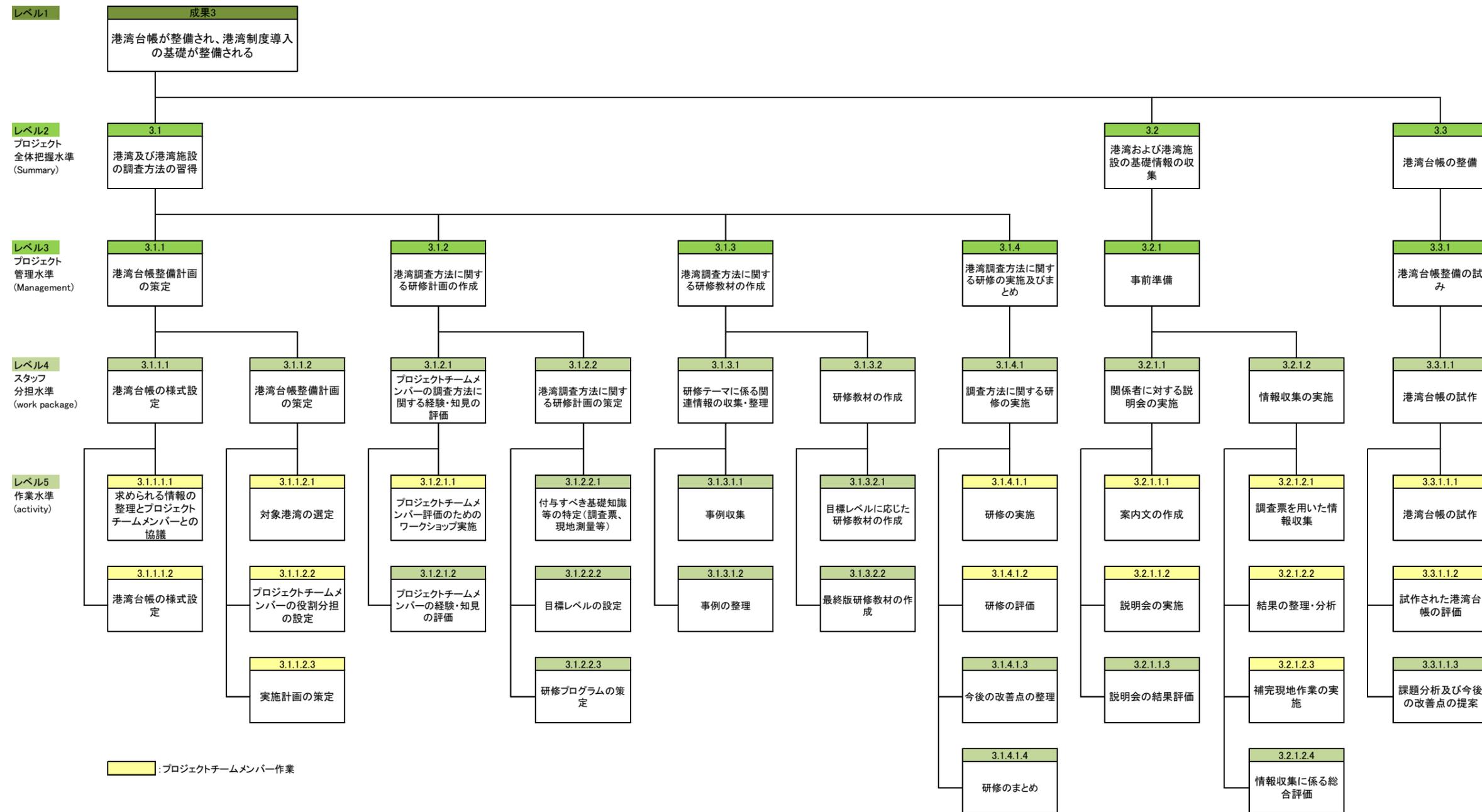
WBS: 「パ」国運輸省 港湾政策及び港湾行政能力強化



WBS: 「パ」国運輸省 港湾政策及び港湾行政能力強化



WBS: 「パ」国運輸省 港湾政策及び港湾行政能力強化



添付資料 5: 海外研修実績

研修詳細計画表

研修コース名:	パプアニューギニア国運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクトに係るカウンターパート研修		
研修期間:	2014年10月4日	～	2014年10月19日
		研修員数	4人

研修目標:	我が国における港湾の開発・管理運営に係る実態の把握等を通じて「パ」国における諸課題を整理する。
研修項目:	①港湾計画、港湾事業制度など、我が国の港湾政策に係る基礎的情報の習得 ②我が国における港湾管理者の業務（計画・管理・運営）の把握 ③我が国における港湾を核とした産業立地の取組み事例の把握 ④上記①～③を踏まえた、「パ」国における港湾を取り巻く諸課題の整理

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等			講師 使用 言語	研修場所
				氏名	所属先及び職位	連絡先		
10/4(土)	14:00 ~ 19:55		移動)ポートモレスビー空港→成田空港					
	～		移動) 成田空港→JICA東京					
10/5(日)	～		休日					
10/6(月)	9:00 ~ 12:00		ブリーフィング	倉持	JICA東京	03-5275-5931	英語	TICプリ室
	14:15 ~ 15:15		プログラムオリエンテーション	能勢道治 中村晋太郎	OCDI調査役 OCDI主任研究員	03-5275-5931	英語	OCDI
	15:15 ~ 15:45		OCDI表敬	岡田光彦	OCDI理事長	03-5275-5931	英語	OCDI
10/7(火)	10:00 ~ 11:30	講義	日本の港湾制度・政策	桐島咲也子	MLIT港湾局総務課	03-5253-8679	日本語	国土交通省
	13:00 ~ 14:30	講義	港湾計画・長期計画、港湾の事業制度、事業評価	鈴木雄士	MLIT港湾局計画課	03-5253-8679	日本語	国土交通省
	15:00 ~ 16:30	講義	海運の業務	能勢道治	OCDI調査役	03-5275-5931	英語	OCDI
10/8(水)	10:00 ~ 11:30	講義	東京港の概要と港湾計画		東京都港湾局港湾整備部港湾計画課	03-5320-5612	日本語	東京港視察船
	13:30 ~ 14:30	見学	「東京みなと館」		東京都港湾局港湾整備部港湾計画課	03-5320-5612	日本語	東京みなと館
	15:00 ~ 16:00	見学	「東京港コンテナターミナル」		東京港埠頭株式会社技術部	03-3599-7303	日本語	東京港コンテナターミナル
10/9(木)	10:00 ~ 11:30	講義	横浜港における港湾施設の管理・運営	畠山幹貴	横浜市港湾局管財一課管財担当係長	045-671-2867	日本語	横浜市
	13:30 ~ 16:30	見学	「横浜港」海上「大さん橋国際客船ターミナル」	今村裕一郎	横浜市港湾局賑わい振興課課長	045-671-2880	日本語	横浜市
10/10(金)	10:00 ~ 11:30	講義	協和海運のパプアニューギニア航路	杉山知之	協和海運取締役定期船部長	03-5510-2037	英語	協和海運
	13:00 ~ 14:30	講義	全国港湾戦略プラン作成事例の紹介	富田英治	OCDI業務執行理事	03-5275-5931	英語	OCDI
	15:00 ~ 16:30	実習	ディスカッション・成果報告書中間とりまとめ	中村晋太郎	OCDI主任研究員	03-5275-5931	英語	OCDI
10/11(土)	～		休日					
10/12(日)	～		移動) JICA東京→羽田空港→大分空港→大分市内					
10/13(月)	～		休日					
10/14(火)	10:00 ~ 11:30	講義	大分港の概要	山口淳史	大分県土木建築部港湾課主幹	097-506-4614	日本語	大分県庁
	12:30 ~ 14:00		移動) 大分市内→中津市内					
	14:00 ~ 14:30	講義	ダイハツ九州概要説明・DVD上映	ダイハツ九州	ダイハツ九州		日本語	ダイハツ九州
	14:30 ~ 15:00	講義	中津港概要説明	寺崎英一	別府港湾・空港整備事務所長	0977-21-0172	日本語	ダイハツ九州
	15:00 ~ 15:30	見学	「中津港」	福田睦久	別府港湾・空港整備事務所工務課長	0977-21-0172	日本語	中津港
			移動) 中津市内→福岡市内					
10/15(水)	10:00 ~ 11:30	講義	九州におけるみなとづくりへの取り組み	的野賢司	国土交通省九州地方整備局	092-418-3340	日本語	福岡第二合同庁舎
	13:00 ~ 14:30	講義	福岡県の港湾事業の概要 福岡県の地方港湾の現状と課題	佐藤祐二 西野晃史	福岡県県土整備部港湾課 港湾係長、管理係長	092-643-3674	日本語	福岡県庁
	15:00 ~ 16:30	見学	アイランドシティのまちづくり	中村晋太郎	OCDI主任研究員	03-5275-5931	英語	博多港アイランドシティ 中央公園
10/16(木)	10:30 ~ 11:30	見学	「芦屋港」	中江克公	福岡県県土整備部港湾課 港湾係・主任技師	092-643-3674	日本語	芦屋港
	～		移動) 福岡空港→羽田空港→JICA東京					
10/17(金)	9:00 ~ 10:30	実習	最終成果報告書作成	能勢道治 中村晋太郎	OCDI調査役 OCDI主任研究員	03-5275-5931	英語	OCDI
	13:00 ~ 14:30	発表	成果報告	能勢道治 中村晋太郎	OCDI調査役 OCDI主任研究員	03-5275-5931	英語	OCDI
	15:00 ~ 16:30	発表	評価会・修了式	能勢道治 中村晋太郎	OCDI調査役 OCDI主任研究員	03-5275-5931	英語	OCDI
10/18(土)	～		移動) JICA東京→成田空港					
	21:05 ~		移動) 成田空港→					
10/19(日)	～ 4:55		→ポートモレスビー空港					

第3国研修（フィリピン）2015年6月28日～7月6日

Date	Time	Activity	Subject	Remarks
28 June (Sun)	09:30 -13:10	Move	<OCDI>Depart Narita for Manila	JL741
	16:50 -20:10	Move	<PNG> Depart Port Moresby for Manila	PX10
	21:00 -22:00	Move	<OCDI & PNG>Transfer to Hotel	Hired Car Hotel: Summerset Millenium Macati*
29 June (Mon)	09:00-	Move	Move to DOTC Office	Hired Car
	10:00 -12:00	Lecture	National Port Administration in the Philippines (*refer to Document-1A) ➤ Presentation of the port sector in PNG ➤ Presentation of DOTC	Mr.Enrico Ferre & DOTC staffs
	PM	Discussion	Discussion on differences of national port administration & making reports	Hotel: as above
30 June (Tue)	09:00-	Move	Move to PPA Office	Hired Car
	10:00 -11:50	Lecture	Businesses of PPA (*refer to Document-1B) ➤ Presentation of the port sector in PNG ➤ Presentation of PPA	Ms.Rola Marjorie etc.
	11:50 -13:30	Lunch Discussion	Lunch Time Discussion & Break	Hired Car Venue: TBD
	13:30 -15:15	Field	Site Visit ➤ ATI (Asian Terminals Incorporated) ➤ MICT (Manila International Container Terminal)	Hired Car, Arranged by PPA Hotel: as above
1 July (Wed)	06:00 -09:00	Move	Move to SBMA office in Subic Bay Freeport Zone	Hired Car
	09:00 -11:50	Lecture	Businesses of SBMA (*refer to Document-1C) ➤ Presentation of the port sector in PNG ➤ Presentation of SBMA	Mr. Jomel Libut & Mr. Nolito Manuel etc.
	11:50 -13:30	Lunch Discussion	Lunch Time Discussion & Break	Hired Car, Venue: Sakura

	13:30 -15:15	Field	Site Visit ➤ SBITC (Subic Bay International Container Terminal) ➤ General Cargo Terminal	Hired Car, Arranged by SBMA
	15:15 -18:30	Move	Move back to Manila	Hired Car Hotel: as above
2 July (Thu)	09:00-	Move	Move to PPA Training Center	Hired Car
	10:00 -11:45	Lecture& Field	Visit to PPA Training Center	Ms.Rola Marjorie etc.
	11:45 -13:30	Lunch Discussion	Lunch Time Discussion & Break	Hired Car Venue: TBD
	13:30 -15:15	Field	Site Visit ➤ North Harbor of Manila Port	Hired Car, Arranged by PPA Hotel: as above
3 July (Fri)	07:00-	Move	Move to Port Management Office of PPA in Batangas	Hired Car
	09:00 -11:30	Lecture	Role & business of Batangas Port (*refer to Document-1E) ➤ Presentation of the port sector in PNG ➤ Presentation of PPA	PPA staffs
	11:50 -13:30	Lunch Discussion	Lunch Time Discussion & Break	Hired Car Venue: TBD
	13:30 -15:15	Field	Site Visit ➤ ATI ➤ Domestic Terminals	Hired Car, Arranged by PPA
	15:15 -17:30	Move	Move back to Manila	Hired Car Hotel: as above
4 July (Sat)	All day		Documentation / OFF	Hotel: as above
5 July (Sun)	All day		OFF	
	18:00-	Move	<PNG>Move to Airport	Hired Car
	21:25-	Move	<PNG>Depart Manila for Port Moresby	PX11
6 July (Mon)	-05:00	Move	<PNG>Arrive in Port Moresby	PX11
	14:25 -19:55	Move	<OCDI>Depart Manila for Narita	JL742

パプアニューギニア国運輸省港湾行政及び行政能力強化プロジェクト

業務完了報告書

研修詳細計画表（実績版）

研修コース名:	パプアニューギニア国運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクト（第3年次）に係るカウンターパート研修		
研修期間:	2016年12月3日	～	2016年12月18日
	研修員数		4人

研修目標:	我が国における国及び地方の港湾行政や港湾の開発・管理運営に係る実態把握等を通じて、国が有すべき権限や国と地方の役割分担などに対する理解を深め、「バ」国における港湾行政に関する諸課題を明確にすること
研修項目:	①港湾計画、港湾事業制度など、我が国の港湾政策に係る基礎的情報の習得 ②我が国における港湾管理者の業務（計画・管理・運営）の把握 ③我が国における港湾を核とした産業立地の取組み事例の把握 ④上記①～③を踏まえた、「バ」国における港湾を取り巻く諸課題の整理

実績 2016年12月20日

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等			講師使用言語	研修場所	移動手段	宿泊先	CDN配置日数
				氏名	所属先及び職位	連絡先					
12/3(土)	14:00 ~ 19:55	移動	ポートモレスビー空港→成田空港					PX054			
	～	移動	成田空港→JICA東京							(TIC)	
12/4(日)	～	休日								(TIC)	
12/5(月)	9:00 ~ 12:00	ブリーフィング		菊地民恵	JICA研修監理員	03-3485-7850	英	TIC SR101	—		1
	13:30 ~ 14:30	プログラムオリエンテーション		川田忠彦	OCDI次長	03-5275-5931	英				
	15:30 ~ 16:00	MLIT表敬		西村 拓	港湾局産業港湾課国際企画室長	03-5275-5931	英	MLIT	東京メトロ/徒歩	(TIC)	
12/6(火)	10:30 ~ 12:00	講義	我が国の産業港湾開発（仮題）	小山 彰	OCDI専務		英	OCDI大会議室	東京メトロ/徒歩	(TIC)	1
	12:10 ~ 12:20	講義	OCDI理事長挨拶	富田 英治	OCDI理事長	03-5275-5931	英				
	13:00 ~ 14:30	講義	日本の港湾制度について(東京港を事例として)	増田 博	元東京都港湾局港務課長		英				
	15:00 ~ 16:30	講義	我が国の国際協力	榎原基生	MLIT 港湾局産業港湾課国際企画室	03-5253-8679	日				
12/7(水)	10:00 ~ 11:30	見学	東京港の開発について	塚間味 康喜	東京港埠頭技術部計画調整課企画係長	03-3599-7376	日	東京港埠頭	車輪上 (ジャンボタクシー)	(TIC)	1
	14:00 ~ 16:00	見学	東京港コンテナターミナル視察(船宇徳MOLターミナル)	井口 修	株式会社宇徳 東京ターミナル部オペレーションチーム	03-3790-1136	日	大井コンテナ埠頭MOL/バス			
12/8(木)	10:00 ~ 11:30	見学	横浜港船上視察(概要説明含む)	笹 健二 青柳麻里子	横浜市港湾局みなと賑わい振興部賑わい振興課担当課長、課員	045-671-2885 045-671-7188	英	横浜港	車輪上 (ジャンボタクシー)	(TIC)	1
	11:30 ~ 12:00	見学	大棧橋施設見学	青柳麻里子 貝瀬係長	横浜市港湾局賑わい振興課各船事業推進課	045-671-2885	日				
	13:30 ~ 15:00	講義	横浜港の港湾施設の維持管理	笹 健二 原 亮輔 青柳麻里子	横浜市港湾局	045-671-2880	日				
	15:30 ~ 17:00	講義	PNG国と大洋州のコンテナ流動	柴崎 隆一	国総研 管理調整部国際業務研究室長	046-834-9584	英				
12/9(金)	10:30 ~ 12:00	講義	日本の港湾制度・政策	堤末恭介	MLIT港湾局総務課	03-5253-8679	日	OCDI大会議室	東京メトロ/徒歩	(TIC)	1
	13:00 ~ 14:30	講義	港湾計画・長期計画、港湾の事業制度、事業評価	近藤祐吉	MLIT港湾局計画課	03-5253-8679	日				
	15:00 ~ 16:30	実習	講義内容中間取りまとめ	川田忠彦	OCDI次長	03-5275-5931	英				
12/10(土)	～	休日							(TIC)		
12/11(日)	13:00 ~ 15:00	移動	JICA東京→羽田空港→長崎空港→市内					JICAバス1号車1061 ANA 3735 / SNA35 (1300-長崎1500) 長崎リムジンバス		JR九州ホテル長崎	1
12/12(月)	10:00 ~ 12:00	講義	長崎県の地方港湾の整備計画及び管理運営、離島フェリーネットワークの概要等	平井太郎 沼田 宏 濱 聡史 近藤利彦	長崎県土木部港湾課係長 長崎県長崎港湾漁港事務所港湾課計画係係長、主任技師 九州地方整備局港湾空港部港湾物流企画室	095-894-3054 095-822-1257	日	長崎港/ 出島交流会館/ 常盤橋橋/ 長崎マゼック	路面電車	JR九州ホテル長崎	1
	13:00 ~ 17:00	見学	長崎港視察								
12/13(火)	9:20 ~ 11:12	移動	長崎→博多						JR特急かもめ12号 (0920-博多1112)		1
	13:00 ~ 14:30	講義	地方整備局(港湾空港部)の役割、地方港の整備と補助制度	河野正文 近藤利彦 高田和由未	国土交通省九州地方整備局港湾空港部港湾物流企画室室長、係長、技官	092-418-3379	日	九州地整福岡第二合同庁舎	タクシー	ホテルサンルート博多	
	15:00 ~ 17:00	講義	クルーズ船受入れ施設の整備、施設の見学	中村 晋太郎	福岡市港湾空港局港湾振興部調整課	092-282-7239	英	博多港センタービル	市営バス		
12/14(水)	8:17 ~ 9:20	移動	博多→広島						新幹線みずほ600 (0817-広島0920)		1
	10:00 ~ 13:00	見学	視察(マツダミュージアム)広島港視察(マツダ仁保Bバス)	阪本 剛 藤井基彦	マツダ株式会社車両物流部	082-252-5574	日	広島	車輪上 (ジャンボタクシー)	ホテルグランヴィア広島	
	14:00 ~ 16:00	見学	原簿資料館見学								
12/15(木)	10:13 ~ 14:13	見学	移動) 広島→東京						新幹線のぞみ16(1013-東京1413)		1
	15:00 ~ 16:30	実習	ディスカッション	能勢道治 川田忠彦	OCDI調査役 OCDI次長	03-5275-5931	英	OCDI第2会議室	JICAバス1号車1061	(TIC)	
12/16(金)	9:00 ~ 10:30	実習	最終成果報告書作成	能勢道治 川田忠彦	OCDI調査役 OCDI次長	03-5275-5931	英	TIC セミナールーム301	—	(TIC)	1
	13:00 ~ 14:30	発表	成果報告 評議会、修了式	田口祐介 能勢道治 川田忠彦 青柳麻里子	JICA社会基盤平和構築部 OCDI調査役 OCDI次長 横浜市港湾局賑わい振興課	03-5226-8161 03-5275-5931 045-671-7188	英				
12/17(土)	17:30 ~ 19:00	移動	JICA東京→成田空港								1
	21:05 ~	移動	成田空港→					PX055			
12/18(日)	～ 4:55	移動	→ポートモレスビー空港					PX055			

注) TIC: JICA東京国際センター、OCDI: 国際臨海開発研究センター
JICA研修監理員: 菊地 民恵

添付資料 6: 合同調整委員会議事録

**Minutes of Meeting
for
the 1st Joint Coordinating Committee (JCC)
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy
and Administration in the Independent State of Papua New Guinea**

The meeting was held on the 9th April, 2014, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 15 members.

Members in attendance are listed in Attachment 1.

The meeting was chaired by Mr. Kevin Luana, Deputy Secretary (Technical Service) of Department of Transport, who acted for the Project Director Mr. Roy Mumu.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JCC members and expectation to the output of the Project.

The Work Plan of the Project was presented and explained by the JICA Experts for the Project. After deliberation, the JCC members approved the Work Plan.

The pending issue for the implementation of the Project was reported and comments were exchanged among the members. It is confirmed that PNG side would continue their efforts for the earliest recruitment of the new staff to participate in the Project Team. It is also confirmed that PNG side would take every possible efforts for the swift realization of the Counterpart Fund for the Project.

All JCC members expressed their intention for continuous support and cooperation on the Project.

Port Moresby, 9th April, 2014



Mr. Kevin Luana
Deputy Secretary (Technical Service)
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

Participant List of The 1st Joint Coordinating Committee
9th April, 2014

(1) Chairperson

Mr. Kevin Luana (substitution)-Deputy Secretary-Technical Services

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Sent Raiya (substitution)- Acting Assistant Secretary, Policy and Research
Division, DoT

Mr. Manau Suu - Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Mathew Wowoi -First Assistant Secretary, Maritime Security Division, DoT

Mr. David Peter -Representative from PNG Ports Corporation Ltd.

Mr. Daniel Benoma -Representative from National Maritime Safety Authority

Mr. Dan Lyanda- Representative from Foreign Aid Division, Department of National
Planning and Monitoring

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Seiichi Kawashima

Mr. Shintaro Nakamura

Mr. Yosuke Watano

Representative from JICA PNG Office

Mr. Shigeru Sugiyama

Mr. Yoshikazu Taniguchi

Mr. Naomasa Kugimoto

Minutes of Meeting
for
the 2nd Joint Coordinating Committee (JCC)
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy
and Administration in The Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 19th November, 2014, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 13 members.

Members in attendance are listed in Attachment-1.

The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

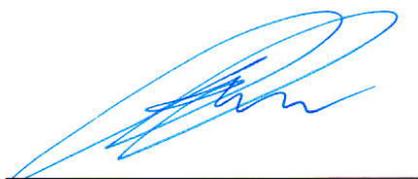
At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for the Project for their coordinated work with PNG side. He also appreciated JCC members for the support of the Project during the 1st year.

The chairman disclosed the latest news that the counterpart fund budget for the Project was approved in the 2015 National Budget.

The draft Progress Report of the Project (1st Year) was presented to the JCC members. And the major activities of the 1st year were explained by the JICA Experts and Project Team Members. After deliberation, the JCC members approved the draft Progress Report.

All JCC members expressed their intention for continuous support and cooperation on the Project.

Port Moresby, 19th November, 2014



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

Participant List of the 2nd Joint Coordinating Committee

19th November, 2014

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Robert Kaul – Rural Transport Infrastructure Development Division, DoT

Mr. Mathew Wowoni - First Assistant Secretary, Maritime Security Division, DoT

Mr. David Peter - Representative from PNG Ports Corporation Ltd.

Mr. Cyril Mudalige - Representative from National Maritime Safety Authority

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Akira Koyama

Mr. Shintaro Nakamura

Mr. Yosuke Watano

Representative from JICA PNG Office

Mr. Shigeru Sugiyama

Mr. Daisuke Horikoshi

Mr. Naomasa Kugimoto

Embassy of Japan in PNG

Mr. Shinji Matsumoto

(Observer)

Minutes of Meeting
for
the 1st Joint Coordinating Committee (JCC) of the 2nd Year
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy and
Administration in the Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 22nd April, 2015, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 20 members. Members in attendance are listed in Attachment 1.

The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JCC members' support during the 1st year and expectation to the continuous support in order to achieve the planned output of the Project.

The Work Plan for the second year of the Project was presented and explained by the JICA Experts for the Project who highlighted the local port survey as one of core activities of the second year.

Additional explanation was provided by the JICA Experts for the use of port inventory and referred to the drafting of Ports Classification of PNG under the port governing system.

Comments were exchanged among the members regarding fundamental administrative structure of nation-wide port system, and members are equally shared the view that the government needs to take initiative in regulating the national port development.

After deliberation, the JCC members approved the Work Plan.

All JCC members expressed their intention for continuous support and cooperation on the Project.

Port Moresby, 22nd April, 2015



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

**Participant List of the 1st Joint Coordinating Committee of the 2nd Year
22nd April, 2015**

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Kevin Luana – Deputy Secretary (Technical Service), Department of Transport

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Gabi Haoda – First Assistant Secretary, Policy & Research Division, DoT

Mr. Philimon Maepa – Assistant Secretary, Policy & Research Division, DoT

Mr. Sent Raiya – Principal Policy Officer (Water), Policy & Research Division, DoT

Mr. Scott Arikapu - Principal Policy Officer (Land), Policy & Research Division, DoT

Mr. Robert Kaul – Rural Transport Infrastructure Development Division, DoT

Mr. David Peter - Representative from PNG Ports Corporation Ltd.

Mr. Vagi Eoima - Representative from PNG Ports Corporation Ltd.

Mr. Patrick Korowa - Representative from National Maritime Safety Authority

Mr. Casper Auntari – Representative from Department of National Planning & Monitoring

Ms. Moale Daure - Representative from Department of National Planning & Monitoring

Mr. Dan Lyanda - Representative from Department of National Planning & Monitoring

Mr. Hideo Kobayashi - Representative from Department of National Planning & Monitoring

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Tadahiko Kawada

Representative from JICA PNG Office

Mr. Shigeru Sugiyama

Mr. Daisuke Horikoshi

Ms. Maki Okusasa

Minutes of Meeting
for
the 4th Joint Coordinating Committee (JCC)
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy
and Administration in The Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 25th November, 2015, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 10 members.

Members in attendance are listed in Attachment-1.

The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for the Project for their coordinated work with PNG side. He also appreciated JCC members for the support of the Project during the 2nd year.

The draft Progress Report of the Project (2nd Year) was presented to the JCC members. And the major activities of the 2nd year were explained by the JICA Experts and Project Team Members. It was reiterated that continuous supply of counterpart fund is an indispensable prerequisite for the success of the Project.

After deliberation, the JCC members acknowledged and approved the contents of the draft Progress Report.

All JCC members expressed their firm intention of continuous support and cooperation towards the final year of the Project in 2016.



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport

Port Moresby, 25th November, 2015



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

Participant List of the 4th Joint Coordinating Committee
25th November, 2015

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Sent Raiya – Policy and Research Division, DoT

Mr. Robert Kaul – Rural Transport Infrastructure Development Division, DoT

Mr. David Sovo Aussell - Representative from National Maritime Safety Authority

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Akira Koyama

Mr. Tadahiko Kawada

Representative from JICA PNG Office

Mr. Shigeru Sugiyama

Ms. Maki Okusa

Minutes of Meeting
for
the 1st Joint Coordinating Committee (JCC) of the 3rd Year
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy and
Administration in the Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 20th April, 2016, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 11 members. Members in attendance are listed in Attachment 1.

The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JCC members' support during the 1st and 2nd years and his expectation of the continuous support for the 3rd year which is the last year of the Project.

The Work Plan was presented and explained by the JICA Experts for the Project who went through the salient points of the project activities of the 3rd year, including final round of port facility survey and training in Japan.

Comments were exchanged among the members regarding the needs of clear demarcation among the organizations related to maritime administration of PNG. Members are equally shared the view that the technical assistance under the Project would make valuable contribution to the capacity building of the maritime-related organization of the country.

After deliberation, the JCC members approved the Work Plan.

All JCC members expressed their intention of continuous support and cooperation to bring the Project to the successful goal at the end of the year.

Port Moresby, 20th April, 2016



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

Participant List of the 1st Joint Coordinating Committee of the 3rd Year
20th April, 2016

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Philimon Maepa – Assistant Secretary, Policy & Research Division, DoT

Mr. Sent Raiya – Principal Policy Officer (Water), Policy & Research Division, DoT

Mr. David Peter - Representative from PNG Ports Corporation Ltd.

Mr. Dan Lyanda - Representative from Department of National Planning & Monitoring

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Tadahiko Kawada

Mr. Seiichi Kawashima

Mr. Katsuyasu Miura

Representative from JICA PNG Office

Ms. Maki Okusa

Minutes of Meeting
for
the 2nd Joint Coordinating Committee (JCC) of the 3rd Year
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy and
Administration in the Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 7th September, 2016, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 10 members. Members in attendance are listed in Attachment 1. The meeting was chaired by Mr. Kevin Luana, Deputy Secretary (Technical Service) of Department of Transport, who acted for the Project Director Mr. Roy Mumu.

(Opening Remark)

The chairman of the meeting, Mr. Luana, expressed his appreciation for the activities of the project and expects meaningful discussion for the future of the project by the JCC members.

(Remarks by Chief Representative of JICA PNG)

Mr. Toyama referred to the ongoing discussion regarding institutional change in the maritime sector and mentioned that JCC's decision on the disposal of the project is critical for JICA to determine their mind for the future of the project.

(Proposal by the project manager)

The project manager, Mr. Siniu, submitted following two proposals for the consideration of the JCC members regarding the project.

- a) Revision of the Project Design Matrix (PDM) as submitted for the alignment with the actual project activities and for the easy reference for the project evaluation
- b) Extension of the Project for another one year (2017) to assist DoT's efforts for their establishment of port administration structure by way of further enhancement of the capacity building activities.

(Discussion and Decision by JCC members)

Comments were exchanged among the members regarding the proposals. After due deliberation, the JCC members approved the revision of PDM and the Proposal of extension of the Project period.

(Closing Remark)

The chairman of the meeting, Mr. Luana, thanked for the sincere discussion and expressed his expectation of continuous support and cooperation by the JCC members.

Port Moresby, 7th September, 2016



Mr. Kevin Luana
Deputy Secretary (Technical Service)
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

**Participant List of the 2nd Joint Coordinating Committee of the 3rd Year
7th September, 2016**

(1) Chairperson

Mr. Kevin Luana – Deputy Secretary (Technical Service), Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Sent Raiya – Principal Policy Officer (Water), Policy & Research Division, DoT

Mr. Manau Suu – Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Mathew Wowoni – First Assistant Secretary, Maritime Security Division, DoT

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Seiichi Kawashima

Representative from JICA PNG Office

Mr. Takashi Toyama

Mr. Daisuke Horikoshi

Ms. Maki Okusa

Embassy of Japan (Observer)

Mr. Shinji Matsumoto

Minutes of Meeting
for
the 3rd Joint Coordinating Committee (JCC)
of the third year
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy
and Administration in The Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 24th November, 2016, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 12 members.

Members in attendance are listed in Attachment-1.

The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for the Project for their coordinated work with PNG side. He also appreciated JCC members for the support of the Project during the 3rd year.

The chief representative of JICA PNG Office emphasized the significance of the Project and conveyed his expectation for continued co-operation among the party involved in the Project.

The draft Progress Report of the Project (3rd Year) was presented to the JCC members. Progress of the major activities of the 3rd year was explained by the JICA Experts. Another presentation was made by one of the Project Team Members to show the progress of their study regarding the National Port Administration.

Discussion was made among the JCC members on the progress of the project in conjunction with on-going discussion regarding implementation of National Transport Strategy (NTS).

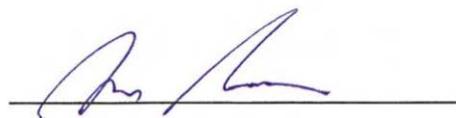
After deliberation, the JCC members acknowledged the work done and approved the contents of the draft Progress Report.

All JCC members expressed their firm intention of continuous support and cooperation towards 2017.

Port Moresby, 24th November, 2016



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

**Participant List of the 3rd Joint Coordinating Committee
Of the third year of the Project
24th November, 2016**

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Gabi Haoda - First Assistant Secretary, Policy & Research Division, DoT

Mr. Sent Raiya – Policy and Research Division, DoT

Mr. Manau Suu – Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Joseph Kunda – First Assistant Secretary, Rural Transport Infrastructure
Development Division, DoT

Mr. Sylvester Adema –Maritime Security Division, DoT

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Ryuichi Kuwajima

Mr. Akira Koyama

Mr. Tadahiko Kawada

Representative from JICA PNG Office

Mr. Takashi Toyama

Ms. Maki Okusa

Minutes of Meeting
for
the 1st Joint Coordinating Committee (JCC) of the Extended Period
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy and
Administration in the Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 29th March, 2017, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 12 members. Members in attendance are listed in Attachment 1.

The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

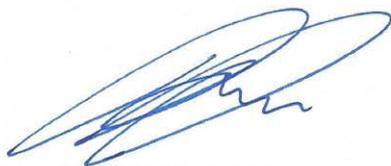
The Work Plan was presented and explained by the JICA Experts for the Project who went through the salient points of the project activities of the extended period, stating the background of the decision of JICA and DoT for one year extension. It was emphasized that the Project will assist DoT's effort of establishing national port administration scheme through capacity building activities during the period.

Comments were exchanged among the members regarding the activities of the Maritime Reform Working Group which is currently undertaking the institutional reform program of maritime sector including national port administration. Members were of the opinion that the development of the maritime reform should be carefully watched due to importance of the subject and the Project could make valuable contribution to it by the capacity building activities.

After deliberation, the JCC members approved the Work Plan.

All JCC members expressed their intention of continuous support and cooperation to bring the Project to the successful goal at the end of the period.

Port Moresby, 29th March, 2017



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

**Participant List of the 1st Joint Coordinating Committee of the Extended Period
29th March, 2017**

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Kevin Luana – Deputy Secretary (Technical Service), Department of Transport

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Mathew Wowoni – First Assistant Secretary, Maritime Security Division, DoT

Mr. Manau Suu – Assistant Secretary Maritime Transport Division, DoT

Mr. Sent Raiya – Principal Policy Officer (Water), Policy & Research Division, DoT

Mr. Steven Aisi – Representative of PNG Ports Corporation Ltd.

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Ryuichi Kuwajima

Mr. Tadahiko Kawada

Representative from JICA PNG Office

Mr. Yoshihiko Chujo

Mr. Daisuke Horikoshi

Embassy of Japan (Observer)

Mr. Mitsugu Yachidate

Minutes of Meeting
for
the 2nd Joint Coordinating Committee (JCC)
of the Extended Period
of
The Project for Capacity Development of Department of Transport in Port Policy
and Administration in The Independent State of Papua New Guinea

The meeting was held on the 29th November, 2017, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 13 members. Members in attendance are listed in Attachment-1. The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for the Project for their coordinated work with PNG side. He further added his expectation of Government's support on port infrastructure development and that the transport sector will be in better position when the National Port Administration framework is put in place.

The chief representative of JICA PNG Office emphasized the significance of the Project and conveyed his appreciation for the support of the Project throughout the period.

The salient points of the Draft Project Completion Report were presented by the Team Leader to the JCC members. Achievements of the Project were explained in details. Another presentation was made by the Project Team Members to explain what they learnt from the Project.

The certificates were presented to all the Project Team Members as a proof of successful passing of the achievement test.

A report was presented by the Project Manager, Mr. Siniu, to the Chairman regarding the institutional reform of PNG port sector, clarifying the roles and responsibilities that should be taken by DoT.

Discussion was made among the JCC members on the outcome of the project and future shape of port administration scheme in PNG.

After deliberation, the JCC members acknowledged the achievement of the Project and approved the contents of the draft Project Completion Report.

In closing the last JCC of the Project, all the members equally expressed their appreciation on the work done by the Project through the years.

Port Moresby, 29th November, 2017



Mr. Roy Mumu
Secretary
Department of Transport



Mr. Michiharu Nose
Team Leader
JICA Experts for the Project

**Participant List of the 2nd Joint Coordinating Committee of the Extended Period
29th November, 2017**

(1) Chairperson

Mr. Roy Mumu – Secretary, Department of Transport

(2) Members

1) PNG Side

Mr. Kevin Luana – Deputy Secretary (Technical Service), Department of Transport

Mr. Charles Siniu - First Assistant Secretary, Maritime Transport Division, DoT

Mr. Gabi Haoda – First Assistant Secretary, Policy & Research Division, DoT

Mr. Manau Suu – Assistant Secretary Maritime Transport Division, DoT

Mr. Whilliam Manoi – Acting First Assistant Secretary, Rural Transport Infrastructure
Development Division, DoT

Ms. Judith Raka - Representative from PNG Ports Corporation Ltd.

Mr. Dan Lyanda – Representative from Department of National Planning & Monitoring

2) Japanese Side

JICA experts for the Project

Mr. Michiharu Nose

Mr. Akira Koyama

Mr. Tadahiko Kawada

Representative from JICA PNG Office

Mr. Takashi Toyama

Mr. Ryosuke Watanabe

添付資料 7: ニュースレター

News Letter

No.1

7/May/2014

The 1st Joint Coordinating Committee (JCC) was held on the 9th April, 2014, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 15 members.

The meeting was chaired by Mr. Kevin Luana, Deputy Secretary (Technical Service) of Department of Transport, who acted for the Project Director Mr. Roy Mumu.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JCC members and expectation to the output of the Project.

The Work Plan of the Project was presented and explained by Mr.Nose, JICA Experts

Team Leader. After deliberation, the JCC members approved the Work Plan.

All JCC members expressed their intention for continuous support and cooperation on the Project.



Workshop (WS) was held as follows:

Date	WS No.	Tutor	Subject
6-Mar	1 st WS	Koyama	Port Administration(1)
16-April	2 nd WS	Nose	Port Administration(2)
23-April	3 rd WS	Nakamura	Port Governing System(1)
30-April	4 th WS	Kawashima	Port Inventory(1)
7-May	5 th WS	Nakamura	Port Statistics(1)

Each WS was presented and explained for about 1hour and the project team members were asked the question and comments to tutor.

We hope that Our WS made all project team members master the basic knowledge of Port Management.

Our next stay is from 12/July to 23/August. During our stay, Seminar on National Port Administration will be held on 20/August and we do Field Work in Port Moresby.



News Letter

No.2

21/Aug/2014

The SEMINAR on NATIONAL PORT ADMINISTRATION was held on the 20th August, 2014, at the Kumul Room in Holiday INN Port Moresby with the attendance of approximate 40 participants including some media for the purpose of informing port-related stakeholders in the country of current situations in the world and PNG and sharing issues surrounding the PNG port sector.

At the beginning of the seminar, Mr. Luana, the Acting Secretary of Transport, gave the opening remark with expectation for this project, and the outline of the project was presented by Mr. Michiharu Nose, JICA experts Team Leader. Then, Mr. Eiji Tomida provided the keynote lecture on Port Administration in Japan and other nations.

After that, two presentations were made by persons concerned in PNG. One was Mr. Ginyaru of PNGPCL. He provided us the current roles and issues of the corporation. The other was Mr. Siniu, the project manager, FAS of Maritime Transport Division, DOT (MTD). He provided roles of MTD and current issues and challenges for the future. Participants had great interests in these presentations, and Q&A sessions were vibrant with discussions.



Workshop (WS) and Field Work (FW) were held as follows:

Date	WS/FW	Tutor	Subject
16-July	6 th WS	Nakamura	Port Governing System(2)
30-July	7 th WS	Nakamura	Port Statistics(2)
06-August	1 st FW	Nose	Port Moresby(PNGPCL)
13-August	8 th WS	Nose	Port Administration(3)



We welcomed new members of the project team who have high motivations for learning. Each WS has progressed on several occasions, and the project team members have obtained the basic knowledge on port administration and other policy tools in stages. We also conducted field work to inspect port facilities for the first time at PNGPCL in Port Moresby. This site inspection aims to compiling port inventory, and will be done in maritime provinces around the country after this.

Newsletter

No.3

17/Oct/2014

FOLLOW-UP and CATCH-UP

workshops were held in addition to the originally scheduled Work Shop (WS) and Field Work (FW). Follow-up workshop (FWS) aims at efficient and practical management of the new port inventory system in PNG. Team members reviewed the data collected through field work and take necessary measures to increase the accuracy of the inventory, i.e. additional collection and clarification of data.



Catch-up workshop (CWS) was conducted

mainly for new members of the project team who joined the team last July.

The 1st CWS gave an overview of port such as (i) various aspects of DoT officials relating to port activities, (ii) public/private activities and transaction in port area, and (iii) role of public organizations.

In the 2nd CWS, an overview of vessels such as dimension, tonnage and type was given.

For the 3rd CWS, “project evaluation” was selected as the subject. A method to analyze a project including the terms used for financial evaluation such as “discount rate”, “present value”, “net present value” and “FIRR”, etc. was introduced to the team.

Participants were assigned homework in order to acquire a deeper understanding on project evaluation.

Workshop (WS) and Field Work (FW) were held as follows:

Date	WS/FW	Tutor	Subject
17-September	2 nd FW	Kawashima	Steamships Shipping/Bismark Shipping
18-September	2 nd FWS	Kawashima	Follow-up Workshop on 2 nd FW
23-September	1 st CWS	Azuma	Comprehensive Understanding on Port
24-September	3 rd FW	Kawashima	Avenell Engineering Systems (AES)
25-September	3 rd FWS	Kawashima	Follow-up Workshop on 3 rd FW
26-September	2 nd CWS	Azuma	Comprehensive Understanding on Vessels
01-October	9 th WS	Azuma	Port Governing System (4), Port Inventory (2), (3)
02-October	3 rd CWS	Azuma	Basic Understanding on Project Evaluation
08-October	4 th FW	Kawashima	Motukea International Port
09-October	4 th FWS	Kawashima	Follow-up Workshop on 4 th FW

News Letter

No.4

20/Nov/2014

The counterpart training in Japan was held from 4th to 18th October, 2014. Various lectures regarding port management and other issues were given to the 4 trainees.

The observation tour of Tokyo Port and Yokohama Port were programed. The trainees also made a trip to Oita and Hakata, located in Kyushu Island, to study the actual management of



medium and small size port facilities in Japan.

In the end of the training, accomplishment report was presented by the trainees. Trainees have identified the issues of PNG and expressed the awareness of importance of acquiring basic knowledge regarding port administration in the accomplishment report.



The 2nd Joint Coordinating Committee (JCC) was held on the 19th November, 2014, at the Conference room of Department of Transport with the attendance of 13 members. The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, the Project Director. At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for the Project for their coordinated work with PNG side. He also appreciated JCC members for the support of the Project during the 1st year. The draft Progress Report of the Project (1st year) was presented to the JCC members. And the major activities of the 1st year were explained

by the JICA Experts and Project Team members. After deliberation, the JCC members approved the draft Progress Report.

All JCC members expressed their intention for continuous support and cooperation on the Project.



Workshop (WS) and Field work (FS) has progressed on several occasions, and the project team members have obtained the basic knowledge on port administration and other policy tools in stages.

Newsletter

No.5

12/Jun/2015

The Second Year of the Project was launched at the 3rd Joint Coordinating Committee (JCC) held on 22nd April. Major activities of the 2nd year were explained by the JICA Experts at the JCC, and the Work Plan was deliberated upon and approved by the JCC members. Field work to collect information on port facilities will be extended to several provinces such as Morobe and East Sepik, while Workshops will be continually conducted. Utilizing the experience and know-how acquired during surveys conducted with the JICA Team,

the project team will attempt to conduct port surveys by themselves in some provinces.

The third country training in the Philippines is also planned from June 28th to July 5th. The participants are expected to learn about port administration, management and operation in the Philippines, which is an archipelago country similar to PNG and has achieved economic growth which PNG aims to emulate by 2030 in the Development Strategic Plan.



The SEMINAR on NATIONAL PORT ADMINISTRATION was held on the 22nd May, 2015, at the Gateway Hotel. Mr. Mumu of the Project Director, the Secretary of Transport, told the more than 30 participants of his expectations for this project and the importance of developing administrative capacity in his opening remarks. Three speakers made presentations related to “Port Development”, the theme of the seminar. Mr. Meapa, the Assistant Secretary of Policy and Research Division of DoT, discussed transport policy related to the maritime sector in PNG

which is described in the National Transport Strategy (NTS), and Mr. Kawada, a JICA expert, discussed technical standards which are vital for building quality infrastructure. Mr. Koyama, a JICA expert, delivered the keynote lecture on “National Development Policy and Ports” by introducing Japan’s experience. During the seminar, many lively discussions were held. For instance, the officials of other aid agencies remarked on issues which should be addressed in PNG, while the current problems in the PNG port sector were discussed by local stakeholders.

News Letter

No.6

25/May/2016

The First Joint Coordinating Committee (JCC) of the Third Year of the Project was held on 20th April, 2016 at the Conference room of the Department of Transport. The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, Project Director, Secretary, Department of Transport.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for their coordinated work with the PNG side in the Project for last two years. He also expected that the knowledge and skill acquired in the three years training would be utilized in the next phase.

After the major activities of the 3rd year project were explained by the JICA Experts, the participants engaged in a lively discussion on port administration in PNG. In addition, the original Work Plan was approved by the JCC members.



Field Work to collect information on port facilities has been extended to Kimbe and Rabaul in West and East New Britain Province. The data and information acquired from the

survey are compiled in a database of DoT as a Port Inventory which will be utilized for various purposes. The survey on 100 port facilities has been completed.



The Workshop of Port Governing System was held on 11th May, 2016. Contents and issues of the last two years were reviewed and the procedure of setting and analyzing data with a general index for port classification among declared ports in PNG was presented as a trial case. After presentations, a lively discussion was held on the port governing system in PNG. Seven project members participated in the workshop.



News Letter

No. 7

16/September/2016

The 3rd Seminar on National Port Administration was held on the 27th July, 2016, at the Holiday Inn Hotel. Around thirty participants from DOT, DNPM, PNGPCL, NMSA, private port operators and so on attended the seminar.

His Excellency Mr. Morio Matsumoto, the Ambassador of the Japanese Embassy in PNG, made an address, in which he mentioned that Japan had been contributing to PNG's development through the assistance efforts of JICA.



Mr. Roy Mumu, the secretary of DOT and the project director, and Mr. Takashi Toyama, chief representative of the JICA office in PNG made opening remarks, in which they stressed the importance of the maritime sector and capacity development in port sector.

This seminar was conducted slightly different from the previous two seminars. As this would be the last seminar in the project, the Team had the counterparts play a greater role.

In the first part of the seminar, three members of the project team made presentations to explain the outcomes of the project. Topics of their presentations were "Port Inventory", "Port Classification", "Lesson Learnt from Overseas Training". Through the presentations, everybody recognized actual outcomes of the project.



In the second part of the seminar, a panel discussion on port policy was conducted.

Main theme of the discussion was an institutional framework for executing national port administration related to the National Transport Strategy (NTS) which had become a hot issue among agencies concerned. Four panelists were selected from MTD and PRD of DOT, PMGPCL and the Team and the Team leader of the project acted as a moderator. Before starting the discussion, Mr. Sent Raiya of PRD made an initial presentation on DOT's basic stance on NTS. Every panelist pointed out the importance of the maritime sector and ports in PNG and stressed the need to clarify the roles of MTD in order to execute national port administration. Lively discussions between panelists and the floor were conducted.

This seminar seemed to be a trigger for staff of MTD and PRD of DOT to reconsider the future institutional framework for executing national port administration. In this sense, this seminar was very fruitful and meaningful.



News Letter

No.8

19/Sep/2016

The 2nd Joint Coordinating Committee (JCC) of the Third Year of the Project was held on 7th September, 2016 at the Conference room of the Department of Transport with the attendance of 10 members.

As the project comes nearer to the end in the end of the third year (2016), the Committee was called upon on ad hoc basis to discuss the future of the project.

The proposals were made for the revision of the Project Design Matrix (PDM) and for the extension of the project for one year (2017).

Comments were exchanged among the members regarding the proposals. After the deliberation, JCC members agreed to approve the revision of PDM and the proposal of extension of the project period.



The Local Port Survey is one of the major activities of the project. Physical data of port infrastructure have been collected in order to establish the National Port Inventory which forms fundamental part of port policy measures and tools. The project carried out extensive survey at various ports and port facilities located in the 15 maritime provinces of the country.

This time, the survey team composed of 3 project team members and 2 Japanese experts made a trip to Lihir Island in New Ireland Province on 13th/15th September, 2016.

Gold mining is a dominant industry in the island and thorough survey of the port facilities were carried out with the cooperation of Newcrest Mining Company, the operator of the gold mine. In addition to the mine port facilities, the team visited local jetties utilized by local residents and several other locations.



Newsletter

No.9

15/Sep/2017

The 1st Joint Coordinating Committee (JCC) of the Extended Period of the Project was held on 29th March, 2017 at the Conference room of the Department of Transport with the attendance of 12 members.

Comments were exchanged among the members regarding the activities of the Maritime Reform Working Group which is currently undertaking the institutional reform program of the maritime sector including national port administration. Members were of the opinion that developments related to maritime reform should be carefully monitored due to the importance of this subject and that the Project could make valuable contribution to it by the capacity building activities. After deliberation, the JCC members approved the Work Plan.



The schedule and subjects of Workshops (WS) are shown in the table below.

Date	WS No.	Lecturer	Subject
5-Apr	33 rd WS	Mr. Kuwajima	National Port Administration (18)
7-Apr	34 th WS	Mr. Kawada	Criteria for Port Development (8)
10-Apr	35 th WS	Mr. Kuwajima	National Port Administration (19)
12-Apr	36 th WS	Mr. Kawada	Criteria for Port Development (8)
29-Jun	37 th WS	Mr. Koyama	National Port Administration (20)
5-Jul	38 th WS	Mr. Mikami	Port Statistics (5)
7-Jul	39 th WS	Mr. Koyama	National Port Administration (21)
12-Jul	40 th WS	Mr. Mikami	Port Statistics (6)



Our next stay is from September 24th to October 14th. During the Team's stay, 4 Workshops will be held, additional Field Work in Rabaul will also be conducted. In addition, the survey team (comprised of the project team leader, 4 project team members and 3 Japanese experts) will visit Rabaul in East New Britain Province from October 2nd-5th to survey new facilities as well as others surveyed previously. After the port survey, three young project team members will complete the National Port Inventory.

Newsletter

No.10

10/Oct/2017

The schedule and subjects of Workshops (WS) are shown in the table below.

Date	WS No.	Lecturer	Subject
27-Sep	41 st WS	Mr. Mikami	Port Statistics (7)
29-Sep	42 nd WS	Mr. Suzuki	National Port Administration (22)

Presentations during each WS lasted about 1 hour. Mr. Mikami introduced the instructions for the data collection on ports and harbors. Mr. Suzuki explained the port Business Continuity Plans (BCP) using some short movies. After those presentations, lively discussions were held among participants on the above subjects.



Additional Field Work was conducted during the first week of October. The survey team (comprised of the project team leader, 4 project team members, local DoT member and 3 Japanese experts) visited Rabaul in East New Britain Province. We conducted a port survey of 11 facilities including a new facility. We were able to grasp the current situation as well as the survey results.



News Letter

No.11

31/January/2018

After four years of activities, the JICA project has been completed. Project team members were able to acquire knowledge on port policies and administration, as well as grasp the current status of the port facilities in the country through surveys of ports and harbor facilities in Maritime Provinces and creating a port inventory. Project team members are expected to utilize the knowledge and skill acquired in the project in port administration of the country. In the last work at Port Moresby, four workshops and the last JCC meeting were held.

Workshop took place in the second and third week of November. The contents of WS are shown in the table below.

Date	No.	Lecturer	Subject
15-Nov.	45thWS	Mr. Koyama	Development Policy and Nation-wide Transport Network in Japan
17-Nov.	46thWS	Mr. Kawada	Construction Management Guideline
22-Nov.	47thWS	Mr. Koyama	Summarization of the National Port Administration
24-Nov.	48thWS	Mr. Kawada	Review of Criteria of Port Development Carried Out on the Past Workshop



The 2nd Joint Coordinating Committee (JCC) of the Extended Period of the Project was held on 29th November, 2017 at the Conference room of the Department of Transport. The meeting was chaired by Mr. Roy Mumu, Project Director, Secretary, Department of Transport.

At the beginning of the meeting, the chairman expressed his appreciation to JICA and JICA Experts for their coordinated work with the PNG side over the entire project period.

Team leader of JICA experts explained noteworthy points of the Draft Project Completion Report and achievements of the project. Discussion was made among the JCC members on the outcome of the project and future shape of port administration scheme in PNG. After deliberation, the JCC members acknowledged the achievement of the project and approved the contents of the draft Project Completion Report.



With kind regards
OCDI

添付資料 8: 港湾 / 港湾施設調査リスト

Port Facilities Visited (as of October 25, 2017)

serial number	number in each port		visited date	name of port facility	remark
1	POM	1	Aug 6, 2014	PNGPCL Port Moresby	Joint Survey (JE + PNG)
2		2	Sep 17, 2014	Steamships Shipping Wharf, POM	
3		3	Sep 17, 2014	Bismark Shipping Wharf, POM	
4		4	Sep 24, 2014	Avenell Engineering Systems, POM	
5		5	Oct 8, 2014	Motukea International Port, POM	
6	Madang	1	Nov 3, 2014	PNGPCL Madang	Joint Survey (JE + PNG)
7		2	Nov 3, 2014	Lutheran Shipping Wharf, Madang	
8		3	Nov 3, 2014	Sigma Wharf, Madang	
9		4	Nov 4, 2014	RD Fishery, Vidar Port	
10		5	Nov 5, 2014	Ramu Nickel Company, Basamuk Port	
11		6	Nov 6, 2014	Monpi Cocoa Export, Madang (Kulili)	
12		7	Nov 6, 2014	Sumukar District Wharf, Madang	
13		8	Nov 6, 2014	Simoi Wharf, Madang	
14		9	Nov 6, 2014	Cassell Agency Wharf, Madang	
15		10	Nov 6, 2014	Steamships Wharf (ex Bismark), Madang	
16		11	Nov 6, 2014	Binnan Wharf, Madang (Biabi)	
17		12	Nov 6, 2014	Rooke's Marine Jetty, Madang	
18		13	May 16, 2017	MTS Marina	PNG PT Survey
19		14	May 17, 2017	Madang Club Marina	
20		15	May 17, 2017	Jia Hao Wharf (ex Jant Wharf)	
21		16	May 18, 2017	Kubugam Wharf	
22	Kavieng	1	May 13, 2015	PNGPCL Kavieng, New Ireland Province	Joint Survey (JE + PNG)
23		2	May 13, 2015	NFA Jetty (owned by NIP Government)	
24		3	May 13, 2015	Hearly (Hilly) Wharf (owned by NIP Government)	
25		4	May 13, 2015	Kavieng Provincial Government Wharf (ADB Funding)	
26		5	May 14, 2015	NFC Jetty (owned by NFA)	

27		6	May 14, 2015	Lakuramau Jetty (owned by)	
28		7	May 14, 2015	Konos Jetty (not exist)	
29		8	May 15, 2015	Taskul Wharf Jetty	
30		9	May 15, 2015	Enelava Jetty	
31	Lae	1	June 1, 2015	PNGPCL Lae, Main Port, Morobe Province	Joint Survey (JE + PNG)
32		2	June 1, 2015	PNGPCL Lae, Tidal Basin	
33		3	June 2, 2015	PNG Taiheiyo Wharf	
34		4	June 2, 2015	Bismark Maritime Wharf	
35		5	June 2, 2015	South Sea Lines (Lae Builders Wharf)	
36		6	June 3, 2015	Freabelle Fishing Wharf	
37		7	June 3, 2015	Asiawe Wharf (ENB Port Services, ex Lutheran)	
38		8	June 3, 2015	Manasu Wharf (Nasfund, ex Lutheran)	
39		9	June 3, 2015	Lae Yacht Club	
40	Lorengau	1	June 16, 2015	PNGPCL Lorengau, Manus Province	PNG PT Survey
41		2	June 15, 2015	Naruse Wharf (Manus Provincial Government)	
42		3	June 15, 2015	Momote Wharf (Manus Provincial Government)	
43		4	June 16, 2015	Loda Wharf, Lombrum (PNGDF)	
44		5	June 16, 2015	NFA Jetty, Lombrum (PNGDF)	
45	Vanimo	1	June 15, 2015	PNGPCL Vanimo, West Sepik Province	PNG PT Survey
46		2	June 15, 2015	Vanimo Forest Products Wharf	
47		3	June 16, 2015	Daunda Log Pond	
48		4	June 16, 2015	Bewani Forest Products Jetty	
49		5	June 17, 2015	D.D. Investment Ltd Log Pond	
50		6	June 17, 2015	Border Interntional Ltd Log Pond	
51	Oro Bay	1	July 30, 2015	PNGPCL Oro Bay, Oro (Northern) Province	Joint Survey (JE + PNG)
52	Namatanai	1	Aug 10, 2015	Namatanai Wharf, New Irealnd Province	Joint Survey (JE + PNG)
53		2	Aug 10, 2015	Labur Wharf	
54		3	Aug 11, 2015	Huris Wharf	
55		4	Aug 11, 2015	Kalili Wharf (Central New Ireland LLG)	
56	Buka	1	Sep 2&4, 2015	PNGPCL Buka, Bougainville	PNG PT Survey
57	Alotau	1	Sep 22, 2015	PNGPCL Alotau, Milne Bay Province	Joint Survey (JE + PNG)

58		2	Sep 22, 2015	Masurina Timbers Jetty (not in use)	
59		3	Sep 23, 2015	Nako Marine Centre Jetty	
60		4	Sep 23, 2015	Cheong Jetty	
61		5	Sep 23, 2015	NFA Jetty (not exist)	
62		6	Sep 23, 2017	East Cape Jetty (not exist)	
63		7	Sep 24, 2015	Alotau Provincial Government Wharf	
64		8	Sep 24, 2015	Alotau International Hotel Jetty	
65		9	Sep 24, 2015	Alotau Market Jetty	
66		10	Sep 24, 2015	Alotau Enterprise Jetty	
67	Wewak	1	Oct 6, 2015	PNGPCL Wewak, East Sepik Province	Joint Survey (JE + PNG)
68		2	Oct 6, 2015	Turubu Log Port	
69		3	Oct 6, 2015	NFA Jetty	
70	Aitape	1	Oct 7, 2015	PNGPCL Aitape, West Sepik Province	Joint Survey (JE + PNG)
71	Western Province	1	Oct 27, 2015	Kiunga Port, Western Province	PNG PT Survey
72		2	Oct 27, 2015	OTML Wharf (Ok Tedi), Kiung	
73		3	Oct 29, 2015	PNGPCL Daru	
74	Kiriwina	1	Nov 11, 2015	Losuia Jetty, Milne Bay Province	Joint Survey (JE + PNG)
75		2	Nov 11, 2015	Kaibola Jetty	
76	Alotau	3	Nov 13, 2015	Nawae Construction Jetty, Milne Bay Province	
77		4	Nov 13, 2015	Driftwood Resort Jetty	
78	Misima	5	Nov 15, 2015	Misima Jetty, Milne Bay Province	
79		6	Nov 15, 2015	Daibobo Jetty (not in use)	
80		7	Nov 15, 2015	Misima Gold Mine Port	
81	Rabaul	1	Apr 27, 2016	PNGPCL Rabaul, East New Britain Province	Joint Survey (JE + PNG)
82		2	Apr 27, 2016	Coastal Wharf	
83		3	Apr 27, 2016	Toboi Wharf (not in use)	
84		4	Apr 27, 2016	Rabaul Yacht Club Jetty	
85		5	Apr 28, 2016	Takubar Wharf, Kokopo (Agmark Shipping)	
86		6	Apr 28, 2016	Raburua Wharf (R&A Marine Services)	
87		7	Apr 28, 2016	Provincial Government Wharf	
88		8	Apr 28, 2016	Kute Wharf	

89		9	Apr 28, 2016	Puma Oil Wharf	
90		10	Apr 29, 2016	Rabaul Shipping Wharf	
91		11	Apr 29, 2016	Island Shipping Wharf	
92		12	Apr 29, 2016	Kulau Lodge Wharf (not in use)	
93		13	Apr 29, 2016	Tokunar Wharf	
94		14	Apr 29, 2016	CPL Wharf	
95		15	Apr 29, 2016	Vunapope Jetty, Kokopo (not in use)	
96		16	Apr 29, 2016	Kurakakaul Fyel Bunker Dolphin/Pier (not in use)	
97		17	Oct 5, 2017	Kabakaul Jetty (not in use)	
98	Kimbe	1	May 4, 2016	PNGPCL Kimbe, West New Britain Province	Joint Survey (JE + PNG)
99		2	May 4, 2016	WNBP Government Jetty	
100		3	May 4, 2016	Malama Jetty	
101		4	May 4, 2016	KBSA Jetty	
102		5	May 5, 2016	Liamo Reef Resort Jetty	
103		6	May 5, 2016	Buluma Wharf (Stetin Bay Lumber)	
104		7	May 5, 2016	Walindi Resort Jetty	
105		8	May 6, 2016	Ulamona Jetty	
106		9	May 6, 2016	Bialla Port (Hargy Oil Palm)	
107	Lihir Island	1	Sep 13, 2016	Londolovit Jetty, New Ireland Province	Joint Survey (JE + PNG)
108		2	Sep 13, 2016	Newcrest Mine Wharf	
109		3	Sep 13, 2016	Palie Catholic Mission Wharf	
110	Central Province	1	Oct 24, 2016	Kupiano Wharf, Central Province	PNG PT Survey
111		2	Oct 25, 2016	Hood Lagoon Jetty	
112		3	Oct 26, 2016	Gabagaba Jetty	
113		4	Oct 27, 2016	Tahira Jetty	
114		5	Oct 27, 2016	Loloata Jetties	
115		6	Oct 28, 2016	Sunset Village Resort Jetty	

Total 115 - 7 (not in use) - 3 (not exist) = Total 105

Order in Accordance with NRI Provincial Data 2010

Location	CN	Name of Port	IN/OUT	RN	Number of Facility							Drawing	photos			
					(1) Mooring Facilities	(2) Port Transport Fac.	(3) Cargo Handling Fac.	(4) Passenger Fac.	(5) Storage Fac.	(6) Port Service	(7) Port Mgmt.					
Southern Region					115	194	28	38	11	61	19	36	115	117		
1	CP	Central Province			7	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
					4	Ravuvu Wharf	IN	1	8	1	1	0	0	1	1	
					105	Kupiano Wharf	OUT	2								
					106	Hood Lagoon Jetty	OUT	3								
					107	Gabagaba Jetty	OUT	4								
					108	Tahira Jetty	OUT	5								
					109	Loloata Jetties	OUT	6								
					110	Sunset Village Resort Jetty	OUT	7								
2	GP	Gulf Province			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
3	MBP	Milne Bay Province			17	26	2	5	0	7	2	4	16	1		
		Alotau			53	PNGPCL Alotau	IN	1	2	0	0	3	0	1	1	
					54	Masurina Timbers Jetty	IN	2						1	1	
					55	Nako marine Centre Jetty	IN	3	1	1	0	0	0	0	1	1
					56	Cheong Wharf	IN	4	1	0	0	0	0	0	1	1
					57	NFA Jetty	IN	5							1	
					58	East cape Jetty	OUT	6							1	
					59	Alotau Provincial Gov't Wharf	IN	7	9	1	5	0	3	2	3	1
					60	Alotau International Hotel Jetty	?	8	2	0	0	0	1	0	0	1
					61	Alotau Market Jetty	?	9	1	0	0	0	0	0	0	1
					62	Alotau Enterprise Jetty	?	10	1	0	0	0	0	0	0	1
					72	Nawae Constructon Wharf (Model)	?	11	2	0	0	0	0	0	0	2
					73	Driftwood Resort Jetty	?	12	1	0	0	0	0	0	0	1
		Kiriwina Island			70	Lousia Jetty	OUT	13	1	0	0	0	0	0	0	1
					71	Kaibola Jetty	OUT	14	1	0	0	0	0	0	0	1
		Misima Island			74	Misima Wharf	OUT	15	3	0	0	0	0	0	0	2
					75	Daibobo	OUT	16								1
					76	Misima Gold Port	OUT	17	1	0	0	0	0	0	0	1
4	NCD	National Capital District			4	13	8	15	8	11	8	9	15	1		
		POM			1	PNGPCL POM	IN	1	8	8	8	8	8	8	1	
					2	Steamships POM	IN	2	1	0	0	0	0	0	5	
					3	Bismark Shipping Wharf	IN	3	1	0	7	0	3	0	1	
					5	Motukea International Port	IN	4	3	0	0	0	0	0	0	1
5	OP	Oro Province			1	2	0	2	1	1	0	1	1	1		
		Oro Bay			47	PNGPCL Oro Bay	IN	1	2	0	2	1	1	0	1	
6	WP	Western Province			3	5	0	1	0	0	0	0	0	3		
		Kiunga			67	Kiunga Town Wharf	OUT	1	2	0	0	0	0	0	0	1
					68	OTML Wharf-Kiunga (OK TEDI)	OUT	2	2	0	1	0	0	0	0	1
		Daru			69	PNGPCL Daru	IN	3	1	0	0	0	0	0	0	1
Momase Region					35											
7	ESP	East Sepik Province			3	7	0	0	0	0	0	0	0	4		
		Wewak			63	PNGPCL Wewak	IN	1	4	0	0	0	0	0	3	
					64	Turubu Log Port	OUT	2	1	0	0	0	0	0	0	
					65	NFA Jetty	OUT	3	2	0	0	0	0	0	1	
8	MADP	Madang Province			16	27	9	4	1	11	2	3	16	1		
		Madang			6	PNGPCL Madang	IN	1	5	0	0	4	2	1	1	
					7	Lutheran Shipping Port Facilities	IN	2	3	0	0	0	0	0	2	
					8	Sigma Construction Port	IN	3	1	1	0	0	1	0	0	
					9	RD Fishing Port	IN	4	1	2	1	0	5	0	0	
					10	Basamuk Port	IN	5	1	1	2	1	0	0	1	
					11	Kulili Cocoa Export Wharf	IN	6	3	0	0	0	0	0	0	
					12	Sumkar District Wharf	IN	7	1	1	0	0	0	0	0	
					13	Simoi Shipping Wharf	IN	8	3	1	0	0	0	0	0	
					14	Cassell Agencies Wharf	IN	9	1	1	0	0	0	0	0	
					15	Steamships Shipping Wharf	IN	10	1	1	1	0	1	0	0	
					16	Biabi Wharf	IN	11	1	1	0	0	0	0	1	
					17	Rooke's Marine Jetty	IN	12	4	0	0	0	0	0	0	
					111	Madang Club Mariners	IN	13								
					112	Kubugam Jetty	OUT	14	1							
					113	JIA HAO Wharf	IN	15	1	0	0	0	0	0	0	
					114	MTS Marina	IN	16							1	
9	MORP	Morobe Province			9	24	1	1	1	19	1	6	10	1		
		Lae			27	PNGPCL Lae	IN	1	7	0	0	1	18	0	5	
					28	Lae Tidal basin	IN	2	1	0	0	0	0	0	0	
					29	Taiheiyu Cement Wharf	IN	3	1	1	1	0	1	1	1	
					30	Bismark Maritime Wharf	IN	4	2	0	0	0	0	0	0	
					31	South Sea Lines Wharf	IN	5	1	0	0	0	0	0	0	
					32	Frabelle Fishing Wharf	IN	6	3	0	0	0	0	0	0	
					33	Asiawe Wharf	IN	7	1	0	0	0	0	0	0	
					34	Namasu Wharf	IN	8	1	0	0	0	0	0	0	
					35	Lae Yacht Club Marina	IN	9	7	0	0	0	0	0	0	
10	WSP	West Sepik Province			7	9	1	1	0	5	1	6	8	1		
		Aitape			66	PNGPCL Aitape	IN	1	1	0	0	0	0	0	1	
		Vanimo			41	PNGPCL Vanimo	IN	2	2	0	0	0	0	0	2	
					42	Vanimo Forest Product Wharf	IN	3	2	1	1	0	1	1	1	
					43	Daunda Log Port (Amanab56)	IN	4	1	0	0	0	1	0	1	
					44	Bewani Palm Oil Jetty	OUT	5	1	0	0	0	1	0	1	
					45	DD Investment Ltd. Log Port	OUT	6	1	0	0	0	1	0	1	
					46	Boarder Int'l Ltd. Log Port	OUT	7	1	0	0	0	1	0	1	
New Guinea Islands Region					48											
11	AROB	Autonomous Region of Bougainville			1	3	1	2	0	1	1	1	1	1		
		Buka			52	PNGPCL Buka	IN	1	3	1	2	0	1	1	1	
12	ENBP	East New Britain Province			17	30								1		
		Rabaul			77	PNGPCL Rabaul	IN	1	2				3	1	1	
					78	Coastal Shipping Wharf	IN	2	3				3	1	1	
					79	Toboi Wharf	IN	3							1	
					80	Rabaul Yacht Club Marina	IN	4	2						1	
					81	Agmark Shipping Wharf	OUT	5	1						1	
					82	Raburua Ramps	OUT	6	3						1	
					83	Dawapia Port	IN	7	5	1	1	1	1	1	1	
					84	Kute Shipping Wharf	IN	8	3						1	
					85	Puma Rabaul Bunker Jetty	IN	9	1						1	
					86	Rabaul Shipping Wharf	IN	10	3					1	1	
					87	Island Shipping Wharf	IN	11	1						1	
					88	Kulau Lodge Beach Resort Jetty	OUT	12	1						1	
					89	Tokunar Marine Park	OUT	13	1						1	
					90	CPL Toboi Wharf	IN	14	3						1	
					91	Vunapope Wharf	OUT	15	1						1	
					92	Kurakakaul Fuel Bunker Dolphin	OUT	16	1						1	
					115	Kabakaul Pier	OUT	17							1	

Location	CN	Name of Port	IN/OUT	RN	Number of Facility							Drawing	photos	
					(1) Mooring Facilities	(2) Port Transport Fac.	(3) Cargo Handling Fac.	(4) Passenger Fac.	(5) Storage Fac.	(6) Port Service	(7) Port Mgmt.			
					115	194	28	38	11	61	19	36	115	117
13	MANP	Manus Province			5	4	0	0	0	0	0	0	4	1
		Lorengau												
		36 PNGPCL Lorengau Port	IN	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		37 Naruse Wharf	IN	2										
		38 Momote Wharf	OUT	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		39 Loda Wharf	OUT	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		40 NFA Jetties	OUT	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
14	NIP	New Ireland Province			16	25	5	7	0	2	3	5	16	1
		Kavieng												
		18 PNGPCL Kavieng	IN	1	2	2	5	0	0	3	4	1	1	1
		19 NFA Jetty +Bunker Jetty	IN	2	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		20 Hilly Wharf	IN	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		21 Kavieng Provincial Government wharf	IN	4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		22 NFC Wharf	IN	5	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		23 Lakuramau Jetty	OUT	6	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1
		24 Konos Jetty	OUT	7										1
		25 Taskul Wharf	OUT	8	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1
		26 Enelava Jetty	OUT	9	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		Namatanai												
		48 Namatanai Wharf	OUT	10	3	1	0	0	1	0	0	1	1	1
		49 Labur Wharf	OUT	11	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1
		50 Huris Wharf	OUT	12	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		51 Kalili Wharf	OUT	13	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
		Lihir Island												
		102 Putput Port	OUT	14	5	0	1	0				4	1	1
		103 Londolovit Port	OUT	15										
		104 Palie Catholic Mission Wharf	OUT	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	WBNP	West New Britain Province			9	19	1	0	0	4	1	1	21	1
		Kimbe												
		93 PNGPCL Kimbe	IN	1	3	0	0	0	2	0	0	3	1	1
		94 WBNP Government Jetty	IN	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1
		95 Malama Jetty	IN	3	3	0	0	0	0	0	0	2	1	1
		96 KBSA Wharf and Marina	IN	4	2	1	0	0	1	1	1	2	1	1
		97 Liamo Reef Resort Jetty	IN	5	3	0	0	0	0	0	0	2	1	1
		98 Buluma Wharf	IN	6	1	0	0	0	1	0	0	3	1	1
		99 Walindi Resort Jetty	OUT	7	3	0	0	0	0	0	0	2	1	1
		100 Bialla Port	OUT	8	2	0	0	0	0	0	0	3	1	1
		101 Ulamona Wharf	OUT	9	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1

PORT FACILITIES SURVEYED

Exist and still in use	105
Exist but not in use	7
Do not exist anymore	3

PORT LIMIT(S)

Inside Port Limit	66
Outside Port Limit	44
No Sure	5

Number of maritime provinces 15

PORT FACILITIES AS PER MARITIME PROVINCES

AROB	CP	ENBP	ESP	GP
1	7	17	3	0
MADP	MANP	MBP	MORP	NCD
16	5	17	9	4
NIP	OP	WBNP	WP	WSP
16	1	9	3	7

PORT FACILITIES AS PER REGIONS

MOMASE	NGI	SOUTHERN REGION
35	48	32

添付資料 9: 達成テスト

達成テストの実施方法

プロジェクトチームメンバーに設問を与え、メンバーの回答のために一定期間が与えられた。設問に対する解答がプロジェクトチームメンバーからあった。回答はプロジェクトマネージャーのシニュー氏により締切日に収集された。集められた回答は採点のために即座に JICA 専門家に送付された。次の評価基準を用いて採点した。

- ・ 25 点 プロジェクトの全体概要の理解度
- ・ 20 点 港湾政策手段において実務的な訓練として行った港湾台帳の理解度
- ・ 10 点 港湾行政制度、港湾統計、港湾指導基準の各々の理解度
- ・ 25 点 本プロジェクトの重要課題である国家港湾行政の理解度

採点結果の概要は次の表のとおりである。

Evaluation Details	points	Manu	Priscilla	Sylvester	Joseph	Sent	Marion	Hane	Vagi
		Suu	Ure	Rokuman	Lelepo	Raiya	Kila	Kila	Eoima
1. Overall understanding	25	20	25	25	20	20	20	20	20
2. Port Inventory	20	20	20	20	20	15	10	20	10
3. Port Governing System	10	5	5	10	10	5	10	5	10
4. Port Statistics	10	5	10	10	10	10	10	10	10
5. Criteria/Guidance for Port Development	10	5	5	5	5	5	5	5	10
6. National Port Administration	25	20	20	20	15	20	15	20	10
	100	75	85	90	80	75	70	80	70

それぞれのプロジェクトチームメンバーの採点を要約すると次の表のとおりで、平均点は 78 点となる。

	Name	Organization	Score
1	Mr. Manau Suu	Maritime Transport Division, DoT	75
2	Ms. Priscilla Ure	Maritime Transport Division, DoT	85
3	Mr. Sylvester Rokuman	Maritime Transport Division, DoT	90
4	Mr. Joseph Lelepo	Maritime Transport Division, DoT	80
5	Mr. Sent Raiya	Policy and Research Division, DoT	75
6	Ms. Marion Kila	Rural Transport Infrastructure Development Division, DoT	70
7	Ms. Hane Kila	Maritime Compliance Division (Harbors Management Services), PNGPCL	80
8	Mr. Vagi Eoima	Infrastructure Division, PNGPCL	70
	Project Team Members average score		78

Achievement Test Questions

on

The Project for Capacity Development of DoT in Port Policy and Administration

All the Project Team Members are requested to answer following questions:

1. Port Inventory

- 1) Please describe why port inventory is necessary for national port administration.
- 2) Please explain the steps to be implemented in carrying out port inventory data collection.

2. Port Governing System

- 1) Please describe why port governing system (port classification) is required for national port administration.
- 2) Please list the elements that should be taken into consideration when establishing port classification.

3. Port Statistics

- 1) Please describe why port statistics are vital for national port administration.
- 2) Please indicate necessary items to be included in the national port statistics.

4. Criteria/Guidance for Port Development & management

- 1) Please describe the necessity of Criteria/Guidance for Port Development & management.

5. National Port Administration

- 1) Please describe roles and responsibilities of DoT as the government agency regarding port administration.
- 2) Please summarize your opinion on how the national port administration in PNG should be formulated in future.